官報　第七千六百七十八號　明治四十二年二月二日　火曜日　印刷局

○省令

遞信省令第一號

明治四十年九月遞信省令第四十三號外國郵便爲替規則第五條第一號中左ノ通改正シ本令公布ノ日ヨリ施行ス

明治四十二年二月二日　遞信大臣　男爵後藤新平

亞然的音共和國外諸國ニ振宛ツルモノノ項中「エリトレア伊太利殖民地」ヲ「ベナディル」及「エリトレア伊太利殖民地」ニ改ム

遞信省令第二號

明治四十年九月遞信省令第四十三號外國郵便爲替規則中左ノ通改正シ本令公布ノ日ヨリ施行ス

明治四十二年二月二日　遞信大臣　男爵後藤新平

第十五條第二項中「グレネーダ」及」ヲ削ル

第十九條第一項中「英國」ヲ削リ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

英國トノ條約ニ依ル爲替ノ差出人ハ郵便又ハ電信ニ依ル名宛人又ハ差出人ノ居所氏名ノ變更ヲ請求スルコトヲ得

同條第二項中「前項」ヲ「前二項」ニ改メ第三項中「第一項」ノ下ニ「及第二項」ヲ加フ

○府令

統監府令第一號

明治四十一年七月統監府令第二十二號中左ノ通改正シ明治四十二年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年一月二十七日　統監　公爵伊藤博文

第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ場合ニ於テ其ノ爲替金ハ百圓毎ニ打切リ計算シ各之ニ相當スル所定ノ爲替料ヲ徵收ス

臺灣總督府令第一號

明治三十三年十一月府令第百八號毒藥劇藥ノ品目左ノ通改正ス

明治四十二年一月二十一日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

毒藥

亞砒酸
鹽酸アポモルヒネ
硫酸アトロピン
カラバル豆越幾斯
昇汞
黃色酸化汞
サリチール酸汞
亞砒酸カリウム液
硫酸モルヒネ
巴豆油
鹽酸モルヒネ錠
サリチール酸フィゾスチグミン
鹽酸ピロカルピン
ウエラトリン

以上ハ日本藥局方第二表ニ揭載セルモノ

チアン水素酸、チアンカリウム其他チアン化合物但ベルリン藍色素黃色血鹽鹽及赤色血鹽鹽ヲ除ク

稀靑酸
ヨード砒素
アコニット越幾斯
ブローム水素酸ホマトロピン
赤色ヨード汞
赤色酸化汞
ヨード砒素汞液
鹽酸モルヒネ
ニトログリセリン
昇汞錠
燐
硫酸フィゾスチグミン
硝酸ストリキニーネ

フルオール水素酸
アポモルヒネ、其化合物竝製劑
アトロピン、其化合物竝製劑
カンタリヂン、其化合物竝製劑
コニイン、其化合物竝製劑
ダツリン、其化合物竝製劑
エメチン、其化合物竝製劑
水銀化合物但朱ヲ除ク
ヒヨスチン、其化合物竝製劑
ナルセイン、其化合物竝製劑
ニコチン、其化合物竝製劑
フイゾスチグミン、竝其製劑
スコポラミン、其化合物竝製劑
ストロフアンチン

アコニチン、其化合物竝製劑
砒素、其化合物竝製劑
ブルチン、其化合物竝製劑
コルヒチン、其化合物竝製劑
クラーリン、其化合物竝製劑
ヂギタリン、其化合物竝製劑
ホマトロピン、其化合物竝製劑
ヒヨスチアミン、其化合物竝製劑
モルヒネ、其化合物竝製劑
ナルコチン、其化合物竝製劑
燐含有物
ピロカルピン、其化合物竝製劑
カラバル豆製劑
ストリキニーネ、其化合物竝製劑

本文
第76778号

可溶性ウラニウム鹽類　ウェラトリン、其化合物竝製劑

劇藥

アセトアニリード　石炭酸
粗製石炭酸　流動石炭酸
防疫用石炭酸　クロール酸
鹽酸　硝酸
粗製硝酸　發煙硝酸
ピクリン酸　硫酸
粗製硫酸　トリクロール醋酸
アガリチン　亞硝酸アミール
アンチピリン　サリチール酸アンチピリン
苦扁桃水　杏仁水
バクチ水　硝酸銀
硝酸銀加硝石　熔製硝酸銀
ブロール　安息香酸ナトリウムカフェイン
サリチール酸ナトリウムカフェイン　カンタリス
ブロール樟腦　抱水クロラール
篠酸セリウム　鹽酸コカイン
クロルフォルム　發泡コロヂウム
燐酸コデイン　硫酸銅
銅聲　印度大麻越幾斯
ヂメチールアミドアンチピリン　ヒヨス越幾斯
コロシント越幾斯　商陸越幾斯
阿片越幾斯　麥角越幾斯
莨菪越幾斯　ベラドンナ葉
帛木鼈越幾斯　ヒヨス葉
ヂギタリス葉　フォルマリン
曼陀羅葉　昇汞繃
コロシント實　グアヤコール
ヨードフォルム綿　印度大麻草
藤黄　甘汞
ロベリア草　黄色ヨード汞
蒸汽製甘汞　白降汞
油酸汞　ヨード
ヨードフォルム　クロール酸カリウム
苛性カリ　クレオソート
ヨードカリウム　ニトログリセリン液
グッタペルカ液

次醋酸鉛液　メチールスルフォナール
鉛丹　鹽酸ヂアセチールモルヒネ
苛性ナトロン　撰發芥子油
阿片　パラアルデヒード
アンチピリン錠　鹽酸コカイン錠
甘汞錠　阿片吐根錠
フェナセチン　コロシントヒヨス丸
醋酸鉛　酸化鉛
ドーフル散　アコニット根
ゲルゼミウム根　吐根
ヤラッパ根　莨菪根
ヤラッパ脂　ボドフィルム脂
サントニン　麥角
コルヒクム子　カラバル豆
ストロファンツス子　帛木鼈
ヂフテリア血清　破傷風血清
硫酸スパルテイン　吐酒石
金硫黄　スルフォナール
昇汞ガーゼ　ヨードフォルムガーゼ
サリチール酸ナトリウムテオプロミン　アコニット丁幾
カンタリス丁幾　複方クロルフォルムモルヒネ丁幾
コルヒクム丁幾　コロシント丁幾
ヂギタリス丁幾　ゲルゼミウム丁幾
吐根丁幾　ヨード丁幾
ロベリア丁幾　阿片丁幾
阿片安息香丁幾　莨菪丁幾
ストロファンツス丁幾　帛木鼈丁幾
ツベルクリン　コルヒクム酒
吐根酒　芳香阿片酒
吐酒石酒　クロール亞鉛
スルフォ石炭酸亞鉛　硫酸亞鉛
纈草酸亞鉛
以上ハ日本藥局方第三表ニ掲載セルモノ
クロール醋酸類
ブロール水素酸
蓚酸
ピクリン酸鹽類
鉄鹽類

强アムモニア水　王水
金鹽類　パリウム化合物但硫酸パリウムヲ除ク
ベラドンナ製劑　ブロモフォルム
カドミウム竝其化合物　カフェイン鹽類
硫化炭素　セリウム鹽類
コカイン、其化合物竝製劑　コデイン、其化合物竝製劑
銅化合物　ヂギタリス葉製劑
サビナ葉竝其製劑　檳實
藤黄製劑　印度大麻草製劑
ドクゼリ竝其製劑　コニウム草竝其製劑
曼陀羅草葉子竝其製劑　ヒヨス草竝其製劑
煙草製劑　莨菪草竝其製劑
ヒドロオキシールアミン竝其鹽類　ヨドール
カリウム　重篠酸カリウム
ナトリウム　ニトロベンツオル
撰發苦扁桃油但ベンツアルデヒード」ヲ除ク　ラウリルケルス油
サビナ油　阿片製劑
汞灰散　アコニット根製劑
鳥頭、附子竝其製劑　コルヒクム根竝其製劑
ゲルゼミウム根製劑　ヤラッパ根製劑
商陸製劑　蓼藍根竝其製劑
麥角製劑　コッケルス子
巴豆竝其製劑　イグナチュース子竝其製劑
サバヂルラ子竝其製劑　ストロファンツス子製劑
虎列剌血清　赤痢血清
ベスト血清　鏈鎖球菌血清
腸窒扶斯血清　飯匙蛇毒血清
丹毒治療液　フエロース次亞燐酸鹽含利別
錫鹽類　タルリン、其化合物竝製劑
コッホ新ツベルクリン　ウレタン
亞鉛鹽類但炭酸亞鉛ヲ除ク

臺灣總督府令第二號

明治三十八年六月府令第五十號收入印紙賣下資捌規則中左ノ通改正ス

明治四十二年一月二十四日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

第八條ニ左ノ一項ヲ加フ

收入印紙ノ賣下代金ハ地方廳ニ於テ相當ト認ムル擔保ヲ提供スルトキハ六箇月以內ノ延納ヲ許スコトヲ得

第八條ノ二　前條ニ依リ擔保ヲ提供シタル者賣下代金ヲ納付スヘキ時期ニ於テ納付セサルトキハ擔保物ヲ以テ賣下代金ニ充ツ但シ金錢以外ノ擔保物ハ之ヲ公賣ニ付シ順次ニ公賣ノ費用及賣下代金ニ充ツ

前項ノ場合ニ於テ不足アルトキハ之ヲ追徵シ殘金アルトキハ之ヲ還付ス

前項ニ依リ還付スヘキ殘餘金ハ之ヲ金庫ニ供託スルコトヲ得

第八條ノ三　擔保物ノ價格減少シタルトキハ地方廳ハ增擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

第八條ノ四　第八條第三項ニ依リ提供スル擔保物ハ之ヲ金庫ニ供託シ其ノ供託受領證ヲ提出スヘシ但シ地方廳所在地ニ金庫ナキトキハ之ヲ供託セスシテ直ニ提供スルコトヲ得

前項但書ニ依リ地方廳ニ於テ擔保物ノ提供ヲ受ケタルトキハ當該官吏ハ其ノ領收證ヲ擔保提供者ニ交付シ擔保物ヲ金庫ニ供託スヘシ

○告示

文部省告示第十六號

本年施行ノ臨時醫術開業後期實地試驗ニ落第シ更ニ東京ニ於テ實地試驗ヲ受ケントスル者ハ來ル三月十五日マテニ到達ノ日取ヲ以テ願書ヲ提出スヘシ

前項出願者ニ對シテハ本年第一回定期試驗ノ際其試驗ヲ行フ

明治四十二年二月二日　文部大臣　小松原英太郎

文部省告示第十七號

東京府立園藝學校

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

明治四十二年二月二日　文部大臣　小松原英太郎

農商務省告示第二十五號

青森大林區管內今別小林區署位置本年二月一日ヨリ左記ノ通變更シ增川小林區署ト改稱セリ

明治四十二年二月二日　農商務大臣　男爵大浦兼武

一陸奥國東津輕郡三厩村大字增川

遞信省告示第百三十二號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十二年二月二日　遞信大臣　男爵後藤新平

第7678號

	一バウンド		英貨	一シルリング	一ペンニー	佛貨	一フランク	一ダラー	米貨	一セント	獨貨	一マルク	墺貨	一フロリン	瑞典	一クローネ	諾威	一クローネ	丁抹威貨幣	一クローネ	瑞典	一クローネ	諾威	一ダラー	※香港洋銀	一セント	墨銀	一ダラー	一セント
金額	金九圓八〇七一三		金四八〇三六		金三九八三〇		金二〇一五一		金二〇一五		金四〇七〇		金八一二四〇		金二一五〇		金五四二〇〇		金八一二四〇		金八一二四〇		金八六〇五〇		金八六一		金八六〇五〇	金八六一
換算割合	一圓ニ付二・「シルリング」〇・「ペンニー」四七二						一圓ニ付二・「フランク」五十六・「サンチーム」二一三						一圓ニ付40町ヲ四十九・セント」六二五						一圓ニ付「マルク」〇・八一「フェニン」〇・三〇						一圓ニ付「フロリン」二十二・「セント」三六四				
備考	一圓ニ付「ダラー」十六・「セント」二一二																											

（備考）羅馬尼貨幣「レー及「バニ」ノ換算割合ハ佛貨換算割合ニ同シ　※香港ハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス　波ニ遞信ルモノニハ墨銀換算割合ヲ適用シ其他ノ地方ニ振遞ルモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス

遞信省告示第百三十三號

明治四十一年十月十二日遞信省告示第千三百六十一號帝國ト外國郵便爲替ヲ交換スル國等ヲ示ス表第一通常爲替「一」直接交換國「甲」羅馬締結郵便爲替業務約定ニ依ルモノノ部「ボスニア、ヘルゼゴヴィナ」ノ項中「得ス」ヲ「得但シ郵便局所在地ニ限ル」ニ改ム

明治四十二年二月二日　遞信大臣　男爵後藤新平

遞信省告示第百三十四號

明治四十一年十月十二日遞信省告示第千三百六十一號帝國ト外國郵便爲替ヲ交換スル國等ヲ示ス表中左ノ通改正ス

明治四十二年二月二日　遞信大臣　男爵後藤新平

「第一　通常爲替」「一　直接交換國」甲　羅馬締結郵便爲替業務約定ニ依ルモノノ部中伊太利ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

「ベナディル（伊太利殖民地（Italian Colony of the Benadir）」	「モガディシオ（Mogadisio）」	法、山圓、錢一千法四百圓得ス	得	伊太利中央郵政廳

遞信省告示第百三十五號

明治四十一年十月十二日遞信省告示第千三百六十一號帝國ト外國郵便爲替ヲ交換スル國等ヲ示ス表中左ノ通改正ス

明治四十二年二月二日　遞信大臣　男爵後藤新平

「第一　通常爲替」「一　直接交換國」甲　羅馬締結郵便爲替業務約定ニ依ルモノノ部英國殖民地領地保護國ノ項中「グレネーダ」ノ側傍點※及※拂渡通知書ヲ請求スルコトヲ得ス」ヲ削ル

統監府告示第三號

明治四十二年二月一日ヨリ左記郵便所ニ於テ諺文電報ヲモ取扱ハシム

明治四十二年一月二十四日　統監　公爵伊藤博文

所名	位置
總鬱島郵便所	慶尚南道東萊府沙中面絕影島

統監府告示第四號

明治四十二年二月一日ヨリ左記郵便電信取扱所及郵便所ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十二年一月二十六日　統監　公爵伊藤博文

所名	位置
天安郵便電信取扱所	忠清南道天安郡天安邑
成歡郵便所	忠清南道稷山郡三西面
温泉里郵便所	忠清南道溫陽郡西面溫泉里

統監府告示第五號

明治四十一年九月統監府告示第百五十二號中電話規則第四十九條第一項第五號以外ノ通話區域及電話料ニ左ノ通追加シ來二月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年一月二十六日　統監　公爵伊藤博文

區域	一通話時ノ通話料	一回ノ電話呼出料
「長」京城鎭南浦間」ノ次ヘ		
京城天安間	金四十錢	金二十錢
京城成歡間	金四十錢	金二十錢
京城溫泉里間	金四十錢	金二十錢
「長」仁川鎭南浦間」ノ次ヘ		
仁川天安間	金四十錢	金二十錢
仁川成歡間	金四十錢	金二十錢
仁川溫泉里間	金四十錢	金二十錢
「長」龍山鎭南浦間」ノ次ヘ		
龍山天安間	金四十錢	金二十錢
龍山成歡間	金四十錢	金二十錢
龍山溫泉里間	金四十錢	金二十錢
「永登浦水原（梅山里ヲ含ム）間」ノ次ヘ		
永登浦天安間	金四十錢	金二十錢
永登浦成歡間	金三十錢	金十五錢
永登浦溫泉里間	金四十錢	金二十錢
「水原（梅山里ヲ含ム）麻浦間」ノ次ヘ		
水原（梅山里ヲ含ム）天安間	金三十錢	金十五錢
水原（梅山里ヲ含ム）成歡間	金二十錢	金十錢
水原（梅山里ヲ含ム）溫泉里間	金三十錢	金十五錢
天安麻浦間	金四十錢	金二十錢
天安成歡間	金十錢	金五錢
天安溫泉里間	金十錢	金五錢
成歡麻浦間	金四十錢	金二十錢
成歡溫泉里間	金二十錢	金十錢
溫泉里麻浦間	金四十錢	金二十錢

統監府告示第六號

明治四十二年二月一日ヨリ左記電信取扱所ヲシテ現ニ取扱フ電報中繼事務ノ外下記制限ニ依リ所定ノ事務ヲ取扱ハシム

明治四十二年一月二十七日　統監　公爵伊藤博文

所名	位置	直配達區域
南大門電信取扱所（ナンダイモン）	京畿道南大門鐵道停車場	鐵道停車場構內

臺灣總督府告示第十號

明治四十一年十二月告示第百四十九號ヲ以テ變位ノ旨告示シタル南閃洲浮標ハ今回正位置ニ碇置セリ

明治四十二年一月二十七日　臺灣總督　伯爵佐久間左馬太

正誤

去月二十九日農商務省告示第十九號中免許番號第一七一二號鰻手縫漁業ノ漁業時期自七月一日ヲ自七月三十一日ノ誤

同上免許番號第一七一四號底曳漁業ノ漁業時期自七月二日ヲ自七月一日ノ誤

農商務省書記官

○敍任及辭令

○明治四十二年一月三十一日

敍正二位　從二位勳一等子爵　田中不二麿

敍從六位　正七位勳四等功五級　石河　正俱

○明治四十二年二月一日

敍從三位　正四位勳一等功一級男爵　安東　貞美

敍正四位　從四位勳一等功二級男爵　山根　武亮

敍正四位　從四位勳一等功二級男爵　伊地知幸介

敍正四位　從四位勳一等功二級男爵　上原　勇作

敍從四位　正五位勳四等　吉井　茂則

敍從四位　正五位勳三等功三級　依田廣太郎

敍從四位　正五位勳二等　窪田靜太郎

敍從四位　正五位勳三等　李家　隆介

敍從四位　正五位勳二等　伊集院彦吉

敍正五位　從五位勳三等　貴志　一郎

敍正五位　從五位勳四等　市來　政方

敍從五位　正六位勳五等　宮地　嶷

敍從五位　正六位勳四等藥學博士　山田　董

敍從五位　正六位　吉松　馴造

敍從五位　從六位勳五等　關　義臣

敍從五位　從六位勳五等　須藤精一

敍從七位　從六位勳五等　山科　元行

敍從七位　從六位勳五等　秩父　日高

敍正七位　從六位勳六等　山口　弘一

敍正七位　從六位勳六等　鳩吉　足立

敍正七位　從六位勳六等　廣太　聚原

敍從六位　從六位勳五等　平田　喜一

敍從六位　正七位　貝原　亘介

敍從六位　正七位　田部　隆次

敍從六位　正七位　福井　久藏

敍正七位　正七位　飯島　忠夫

敍正七位　從七位勳六等　坪井　祥

敍正七位　從七位勳六等　赤浦　力次

敍從七位　從七位　小林　盈一

敍從七位　正八位勳八等　杉尾八十次郎

敍從七位　正八位勳八等　前田爲一郎

敍從七位　正八位勳八等　松木順次郎

敍正八位　從八位勳七等　花井　久夫

敍正八位　從八位勳六等功五級　吉池　勇

敍正八位　從八位勳六等功五級　石川　三郎

敍正八位　從八位勳六等功五級　伊藤千仭

任陸軍砲兵少佐　陸軍砲兵大尉　原田　種量

任陸軍砲兵少佐　陸軍砲兵大尉正七位勳五等　桐原　豐種

任陸軍砲兵大尉　陸軍砲兵中尉從七位勳六等功五級　吉池　勇

任陸軍砲兵大尉　陸軍砲兵中尉從七位勳六等功五級　石川　三郎

任陸軍砲兵大尉　陸軍歩兵中尉從七位勳六等　花井　久夫

任陸軍砲兵大尉　陸軍砲兵中尉從七位勳六等功五級　對馬　一義

任陸軍砲兵大尉　陸軍砲兵大尉從六位勳五等功五級　高橋　善一

元帝國鐵道廳主事新橋驛長勤務中明治四十一年七月二十九日驛長附書記カ貨物收入金千五百四拾參圓六拾四錢ヲ竊取逃走スルニ至リタルハ畢竟平素部下監督不周到ノ致ス所ニシテ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ文官懲戒令ニ依リ譴責ス

鐵道院主事　上野敬治郎

元帝國鐵道廳主事補米原驛長勤務中明治三十九年三月ヨリ四十年八月マテノ間ニ於テ同驛在勤車掌驛夫等十餘名列車乘務中貨物ヲ竊取スルニ至

鐵道院主事補

リヤルハ畢竟平素監督不周到ノ致ス所ニシテ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ文官懲戒令ニ依リ譴責ス

兵庫縣防疫評議員被仰付　神戸市會議長　坪田十郎

兵庫縣防疫評議員被免　横田孝史

市立仙臺工業學校長兼市立仙臺工業學校敎諭　野村成次郎

願ニ依リ本職竝兼職ヲ免ス（以上二月一日內閣）

海軍中將從四位勳二等功三級男爵　伊東義五郎

佛蘭西共和國政府ヨリ贈與シタル「コンマンドール、ドロルドナショナル、ドラレジオン、ドノール」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

陸軍步兵大尉正七位勳五等　中野孝一郎

韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳四等太極章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳六等太極章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル（以上十九日賞勳局）

統監府鐵道管理局書記勳八等　治良丸森吉

（各通）

樞密顧問官從二位勳一等子爵　田中不二麿

特旨ヲ以テ位一級俸進（十一日宮內省）

陸軍一等主計正七位勳四等功五級　石河正供

位記返上ヲ命ス（二日同）

賜五級俸

正八位　宮崎與次郎

安東在勤ヲ命ス（以上十九日外務省）

領事官補　矢田部保吉

二級俸下賜

領事官補　坂本久壽

福岡縣山門郡長　堀養之丞

福岡縣筑紫郡長　池田穫

（各通）

四級俸下賜

一級俸下賜（以上十九日內務省）

山梨縣技師　長崎武英

府縣制第六十五條第三項ニ依リ群馬縣參事會員ヲ命ス（二日同）

宮崎縣技師　渡部豐

群馬縣事務官　廣瀨直幹

陸軍砲兵少佐子爵　朽木綱貞

陸軍砲兵少佐　朽木綱貞

陸軍砲兵大尉　飯間清一

陸軍砲兵少佐　鈴木清太郎

陸軍砲兵大尉　松枝丈太夫

陸軍砲兵中尉　貝沼哥次郎

陸軍砲兵少尉　山內丑松

陸軍砲兵少佐　桐原豐種

陸軍砲兵少佐　野原四郎作

陸軍砲兵大尉　藤井盛次

陸軍砲兵大尉　藤田德四郎

陸軍砲兵大尉　伊藤熊市

陸軍砲兵中尉　山崎正忠

陸軍砲兵大尉　浜尾島

陸軍砲兵大尉　對馬一義

陸軍砲兵大尉　竹村爲三郎

陸軍砲兵大尉　宮野智則

陸軍砲兵大尉　今村貞文

陸軍砲兵中尉　伊藤定吉

陸軍砲兵大尉　岩魚勝馬

陸軍砲兵大尉　橋本文三

陸軍砲兵大尉　林和輔

陸軍砲兵大尉　大塚常雄

陸軍砲兵大尉　山崎善七郎

陸軍砲兵大尉　古森住四郎

陸軍砲兵中尉　石川三郎

陸軍砲兵中尉　後藤兼文

陸軍砲兵中尉　岩谷義功

陸軍砲兵中尉　高木正夫

陸軍砲兵中尉　平山彌鍵

陸軍砲兵中尉　太田彦四郎

陸軍砲兵中尉　古閑子熊

陸軍砲兵中尉　花井久夫

陸軍砲兵大尉　菊池正佐

陸軍砲兵大尉　吉池勇

陸軍砲兵大尉　對馬一義

陸軍砲兵大尉　竹村爲三郎

陸軍砲兵大尉　宮野智則

（各通）

免本職補重砲兵第三聯隊附

免本職補重砲兵第四聯隊附

基隆重砲兵大隊中隊長

（各通）

免本職補重砲兵第五聯隊中隊長

免本職補重砲兵第六聯隊附

基隆重砲兵大隊中隊長

（各通）

免本職補重砲兵第六聯隊中隊長

免本職補重砲兵第六聯隊附

基隆重砲兵大隊中隊長

（各通）

免本職補重砲兵大隊中隊長

免本職補要塞重砲兵大隊中隊長

基隆重砲兵大隊中隊長

（各通）

免本職補重砲兵大隊中隊長

免本職補佐世保重砲兵大隊附

基隆重砲兵大隊中隊長

（各通）

免本職補佐世保重砲兵大隊附

免本職補長崎重砲兵大隊中隊長

基隆重砲兵大隊中隊長

（各通）

免本職補長崎重砲兵大隊中隊長

免本職補函館重砲兵大隊中隊長

基隆重砲兵大隊中隊長

（各通）

免本職補基隆要塞司令部部員

（各通）

免本職補鎭海灣重砲兵大隊中隊長

免本職補鎭海灣重砲兵大隊副官

重砲兵第一聯隊附陸軍砲兵大尉　澁谷湖島重砲兵大隊附

重砲兵第三聯隊附陸軍砲兵大尉　對馬重砲兵大隊附

重砲兵第三聯隊附陸軍砲兵大尉　澁谷湖島重砲兵大隊附

（各通）

重砲兵第三聯隊附陸軍砲兵大尉　對馬重砲兵大隊附

藝豫重砲兵大隊附陸軍砲兵大尉　佐世保重砲兵大隊附

藝豫重砲兵大隊附陸軍砲兵大尉　佐世保重砲兵大隊附

藝豫重砲兵大隊附陸軍砲兵大尉　基隆重砲兵大隊附

重砲兵第三聯隊附陸軍砲兵大尉　函館重砲兵大隊附

藝豫重砲兵大隊附陸軍砲兵大尉　佐世保重砲兵大隊附

藝豫重砲兵大隊附陸軍砲兵大尉　佐世保重砲兵大隊附

免本職補鎭海灣重砲兵大隊附

（各通）

免本職補旅順重砲兵大隊中隊長

東京灣要塞司令部部員　陸軍砲兵大尉　藤田德四郎

舞鶴重砲兵大隊附陸軍砲兵大尉　伊藤熊市

重砲兵第四聯隊附陸軍砲兵中尉　山崎正忠

佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵中尉　島尾浜

佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵中尉　飯間清一

佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵中尉　鈴木清太郎

佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵中尉　松枝丈太夫

佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵中尉　貝沼哥次郎

佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵中尉　春田捨藏

佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵中尉　山內丑松

佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵少尉　藤木兼直

佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵少尉　出倉利太郎

佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵大尉　藤井盛次

佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵大尉　江島龜太郎

免本職補旅順重砲兵大隊中隊長

東京灣要塞司令部部員　陸軍砲兵大尉　小林鉦一郎

舞鶴重砲兵大隊附陸軍砲兵大尉　春日兼三郎

重砲兵第四聯隊附陸軍砲兵中尉　河野增吉郎

佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵中尉　小林萬里

佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵中尉　秀島繁太郎

佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵中尉　片山龜松

（各通）

長崎重砲兵大隊附陸軍砲兵中尉　堂田達三郎

舞鶴重砲兵大隊附陸軍砲兵少尉　小林職男

佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵少尉　頭師喜四郎

長崎重砲兵大隊附陸軍砲兵少尉　米田清太郎

免本職補旅順重砲兵大隊附

退役被仰付

豫備被仰付

陸軍一等軍醫正　土屋淳介

陸軍三等主計　和泉幸市

陸軍技師　小林猪太郎

東京砲兵工廠附ヲ免シ東京砲兵工廠廠員ヲ命ス（以上二日陸軍省）

免本職補海軍大學校敎官

兼補臨時海軍建築部部員　第二艦隊參謀長海軍大佐　松村龍雄

兼補海軍大學校敎官　海軍艦政本部出仕海軍中佐　澤崎寬猛

兼補海軍省軍務局局員　海軍軍令部參謀　齋藤七五郎

陸軍大學校兵學敎官　陸軍參謀本部部員　內田虎三郎

佐世保鎭守府參謀　海軍大尉　寺岡平吾

免本職竝兼職補海軍省軍務局局員

免常磐水雷長心得兼分隊長心得補佐世保鎭守府參謀兼望樓監督官

免本職常磐水雷長心得兼分隊長心得被仰付　朝風驅逐艦長海軍大尉　江口金馬

（各通）　初雪驅逐艦長兼春風驅逐艦長海軍大尉　吉永武之

霞驅逐艦長兼薄雲驅逐艦長海軍大尉　松下芳藏

免兼職

免本職補東雲驅逐艦長　菊月驅逐艦長海軍大尉　岡田啟次郎

免本職補春風驅逐艦長　水無月驅逐艦長海軍大尉　石川莊一郎

兼補野分驅逐艦長　白雪驅逐艦長海軍大尉　吉田良鋭

兼補鎭遠砲術長海軍大尉　一條實孝

免兼職　夕立驅逐艦長兼夕暮驅逐艦長海軍大尉　丸尾剛

兼補菊月驅逐艦長　長月驅逐艦長海軍大尉　伊東貞三郎

兼補水無月驅逐艦長　卯月驅逐艦長海軍大尉　馬島專之助

免本職補夕暮驅逐艦長　野分驅逐艦長海軍大尉　中山友次郎

免兼職　漣驅逐艦長兼東雲驅逐艦長海軍大尉　酒井重之助

免本職補朝風驅逐艦長　霞驅逐艦長海軍大尉　兒玉兼三郎

兼補霞驅逐艦長　吳敗設隊分隊長海軍大尉　小川正冬

兼補薄雲驅逐艦長　彌生驅逐艦長海軍大尉　小澤八郎

吳敗設隊分隊長心得被仰付　海軍中尉　井上鐵彥

叢雲乘組被免和泉乘組被仰付　海軍中尉　春精

免本職兼雲乘組被仰付　海軍中尉　橘

免陽炎乘組被仰付　吳海軍工廠艤裝員海軍中尉　鈴木義一

免本職補朝風乘組被仰付　海軍中尉　高原半

免本職補横須賀海兵團附　橫須賀海兵團附海軍中尉　大野太熊

免彌生乘組被免橫須賀海兵團附　海軍中尉　小泉才助

卯月乘組被免雨乘組被仰付　海軍中尉　安田貢

有明乘組被免響乘組被仰付　海軍中尉　山本吉德

不知火乘組被免新高乘組被仰付　海軍中尉　赤座剛

新高乘組被免夕霧乘組被仰付　海軍中尉　牧瑛

免兼職　海軍砲術學校附海軍中尉　江口毅治

補壹岐機關長　海軍中尉　眞木重愛

海軍中尉　田川熹一

海軍中尉　橋本薰

海軍中尉　覺張榮三郎

海軍中尉　皆川廣之

海軍中尉　三浦誠輔

佐世保海兵團附海軍中尉　水町又二郎

海軍中尉　大塚由勇

海軍中尉　吉澤忠吉

海軍中尉　吉澤忠吉

海軍中尉　大串諄藏

海軍中尉　江原收治

海軍中尉　池田喜藏

海軍中尉　青木秋太郎

海軍中尉　湯田有義

海軍中尉　中村寬

海軍少尉　伊藤貞一

海軍少尉　馬瀨鷲治

海軍少尉　名古屋十郎

海軍少尉　小山泰治

海軍少尉　熊澤午介

海軍少尉　小澤魯輔

海軍少尉　兒非勳

海軍少尉　高山忠三

海軍少尉　瀨戶重雄

海軍少尉　井口誠二

海軍少尉　等力利明

海軍少尉　八郎

海軍少尉　井上鐵彥

海軍中尉　春精

海軍中尉　橘

海軍少尉　鈴木義一

海軍少尉　宮崎英

海軍中尉　高原半

海軍中尉　大野太熊

海軍中尉　小泉才助

海軍中尉　安田貢

海軍中尉　山本吉德

海軍中尉　赤座剛

海軍中尉　前野邦忠

海軍機關少佐　二瓶壽松

免本職補橋立乘組被仰付

松風乘組被免白露乘組被仰付

周防乘組被免初霜乘組被仰付

初霜乘組被免周防乘組被仰付

和泉乘組被免叢雲乘組被仰付

免石見乘組補佐世保海兵團附

免夕霧乘組補海軍砲術學校附

吹雪乘組被免神風乘組被仰付

免本職陽炎乘組被仰付

磐手乘組被免霞乘組被仰付

橋立乘組被免

待命被仰付　但橫須賀ニ滯在スヘシ

磐手乘組被免薄雲乘組被仰付

水無月乘組被免初春乘組被仰付

白雪乘組被免夕暮乘組被仰付

霞乘組被免如月乘組被仰付

野分乘組被免夕立乘組被仰付

浦波乘組被免漣乘組被仰付

出雲乘組被免卷雲乘組被仰付

富士乘組被免東雲乘組被仰付

長月乘組被免初雪乘組被仰付

白妙乘組被免三日月乘組被仰付

淺間乘組被免不知火乘組被仰付

菊月乘組被免春風乘組被仰付

研究ノ爲メ磐手乘組被仰付置候處被免磐手乘組被仰付

研究ノ爲メ出雲乘組被仰付置候處被免出雲乘組被仰付

研究ノ爲メ淺間乘組被仰付置候處被免淺間乘組被仰付

研究ノ爲メ石見乘組被仰付置候處被免石見乘組被仰付

研究ノ爲メ富士乘組被仰付置候處被免富士乘組被仰付

研究ノ爲メ磐手乘組被仰付置候處被免磐手乘組被仰付

（各通）　海軍採炭所長兼海軍艦政本部部員海軍機關大佐　鈴木富三

浪速機關長兼壹岐機關長海軍機關少佐　足立重德

吳海軍港務部部員兼大和艦機關長海軍機關少佐　前野邦忠

海軍機關少佐　二瓶壽松

第7678号

第7678号 本文

兼補海軍大學校教官海軍艦型試驗所員　海軍艦政本部員海軍機關大尉　武村耕太郎
免本職補大和機關長兼分隊長　敷島分隊長海軍機關大尉　清須勝助
免本職補敷島分隊長　吳海兵團分隊長海軍機關大尉　戸田信行
免本職吳海兵團分隊長心得被仰付　第八驅逐隊附海軍機關中尉　杉山順二
八雲乘組被仰付　海軍機關中尉　大野弘
免本職　第五艇隊附海軍機關中尉　財津重雄
待命被仰付（但佐世保ニ滯在スヘシ）　海軍機關中尉　財津重雄
免吾妻乘組補第十驅逐隊附　海軍機關中尉　川村武夫
免本職補第五艇隊附　第十三驅逐隊附海軍機關中尉　石出勝司
免淺間乘組補第八驅逐隊附　海軍機關少尉　前島喜美藏
補第十驅逐隊附　海軍機關少尉　樋口遠吾
兼補海軍艦型試驗所主計長　海軍大學校主計長兼海軍醫學校主計長海軍主計大監　江口莊二郎
海軍艦型試驗所長缺員中同職事務取扱被仰付　海軍造船總監　近藤基樹
兼補海軍艦型試驗所員（以上二月一日海軍省）　海軍艦政本部出仕海軍技師　細見久登
司法官試補ヲ命ス　峰村讓平
東京區裁判所檢事代理ヲ解ク　司法官試補　堀耕作
東京區裁判所檢事代理ヲ命ス　司法官試補　金子榮次郎
小倉區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習スヘシ（以上二月一日司法省）　司法官試補　峰村讓平
五級俸下賜（一月二十九日文部省）　文部省視學官　服部教一
京都市ヘ出張ヲ命ス（一月二十八日京都帝國大學）　京都帝國大學福岡醫科大學附屬醫院藥局長　酒井甲太郎
神奈川縣下ヘ臨機出張ヲ命ス　地方海員審判所理事官　藤岡幸太郎
石川縣下ヘモ出張ヲ命ス（以上一月二十五日遞信省）　海事局技師　富樫眞三
民政部殖産局商工課長心得ヲ命ス　臺灣總督府事務官　立川連
民政部殖産局商工課勤務ヲ命ス（以上一月十六日臺灣總督府）　臺灣總督府事務官　金田政四郎
臺北基隆市區計畫委員ヲ命ス（一月二十日同）　基隆廳長　曾禰吉彌

○宮廷錄事

○東宮同妃御安著　皇太子同妃兩殿下ハ御豫定ノ如ク昨一日午前十時新橋停車場御發車正午十二時葉山御用邸ヘ御安著アラセラレタリ

○恩賜　正二位勳一等伯爵佐佐木高行、從二位勳一等子爵黑田清綱、從二位勳一等男爵原田一道、從五位澤田泰綱ハ本年八十歲、從二位勳一等子爵河瀨眞孝、從二位勳一等子爵高辻修長、正二位勳一等男爵岩村通俊、正三位勳一等功三級男爵伊藤雋吉、正三位勳二等男爵船越衛、正三位勳二等男爵調所廣丈、從三位勳四等男爵寺島秋介、正四位勳二等男爵澁澤榮一ハ七十歲ノ高齡ニ付キ一同昨一日御紋付御杯竝ニ酒肴料ヲ下賜ヒタリ

○彙報

○官廳事項

○官吏發著　帝室林野管理局甲府支廳長北村誠太郎ハ去月二十二日上京同二十八日出發、嚢ニ上京ノ同局青森支廳在勤同局技師齋藤修五郎ハ同二十六日出發孰モ歸任●靜岡縣下熱海ヘ出張ノ伏見宮御用掛田中壽三郎ハ同二十九日歸京●內大臣祕書官日高秩父ハ同三十一日出發韓國ヘ出張セリ

●野口步兵第三十五旅團長ハ第十二師團團隊長會議參列ノタメ小倉ニ向ヒ去月二十四日、木越第五師團長ハ管內地方官衙公署ニ於ケル召集事務竝ニ馬匹徵發事務檢閲ノタメ山口縣下ニ向ヒ同二十七日孰モ出發●嚢ニ大津ヘ出張ノ石田步兵第十八旅團長ハ同二十四日、兵庫縣下ヘ出張ノ土屋第四師團長及仁田原步兵第七旅團長ハ同二十六日孰モ歸著、上原第七師團長ハ釧路聯隊區司令部巡視ノタメ釧路地方ニ向ヒ同二十五日出發同二十八日、久留米ヘ出張ノ柴佐世保要塞司令官ハ同二十九日孰モ歸著セリ

●岡山、愛媛二縣ヘ出張ヲ命セラレタル文部省視學官茨木清次郎ハ去月三十一日出發セリ

●嚢ニ上京ノ服部兵庫縣知事ハ去月二十九日出發歸任●川島滋賀縣知事ハ同三十日上京セリ

○官吏薨去及卒去　樞密顧問官正二位勳一等子爵田中不二麿ハ昨一日薨去シ豫備陸軍砲兵大佐正五位勳三等功四級小久保善之助ハ去月二十一日卒去セリ

警察

○出火　去月二十九日午後九時十二分東京府東京市本所區太平町二丁目所在陸軍糧秣本廠本所秣倉庫ヨリ出火全燒秣倉庫三棟、秣野積十九山同三十日午前七時鎭火」昨一日午前四時四十分同市京橋區新榮町二丁目一番地ヨリ出火全燒住屋十一戸、工場、物置各一棟、半燒住屋五戸同五時三十分鎭火セリ

○陸海軍

○水路告示第一千百二十六號

一艦船ニ於テ此告示ヲ領受シタルトキハ速ニ其關係ノ圖誌ヲ改正增補センコトヲ要ス
一方位ハ總テ磁針ニシテ燈臺ノ方位ハ海方ヨリ取ル
一經緯度ハ別ニ記事ナキトキハ總テ概位ナリ
一燈臺等ノ光達距離ハ晴夜ニ於ケルモノナリ
一霧中信號ハ密霧若クハ靄霧アル天氣ノ時ノミ施行ス然ラサルモノハ特ニ其旨ヲ注記ス
一水深ハ平均大低潮面下ノモノヲ示ス
一高ハ平均大高潮面上ノモノヲ示ス

第六五〇三項
臺灣北岸　基隆港
浚渫區域識別用浮標位置等ノ變更
一記事　基隆港內浚渫區域識別用浮標中左記ノ二浮標ハ其位置及樣式等ヲ變更シ尙ホ浚渫工事作業上ノ必要ヨリ試驗ノ爲メ各燈火ヲ點スト云フ
(一)浮標
仙洞山頂△ハ南八〇度西ニ稅關北東方ノ挂燈旗竿ハ南五度西ニ當ル處ニアリテ嚢ニ當分ノ內撤去ノ旨告示シタルモノ
一新位置　仙洞山頂△ヲ北八三度西距離一$\frac{1}{10}$鏈ニ稅關北東方ノ挂燈旗竿ヲ南一八度一五分東ニ望ム處
北緯二五度八分四五秒　東經一二一度四四分五五秒

一樣式　黑塗圓錐形ニシテＣト白書シ水面上ノ高五呎五吋其上部ニ挂燈裝置ヲ設ケ白塗ス
一燈質　不動綠光
(二)浮標
一位置　仙洞山頂△ヲ北三三度西距離二鏈半弱ニ稅關北東方ノ挂燈旗竿ヲ南四四度東ニ望ム處
北緯二五度八分三五秒　東經一二一度四四分三五秒
一樣式　紅塗圓錐形ニシテＤト白書シ水面上高五呎五吋其上部ニ挂燈裝置ヲ設ケ白塗ス
一燈質　不動紅光
一偏差　明治四十二年一度二一分西
一關係海圖　第二三〇號
一關係誌類　日本水路誌第二卷下一九〇頁及水路告示第一九三八號
一出所　明治四十二年一月二十日附山田臺灣總督府民政長官代理通知

第六五〇四項
黃海北部　旅順港口
沈船ノ撤去
一記事　旅順港口ニアル左記ノ二沈船ハ明治四十一年十一月全部撤去セリ
一位置　旅順港燈臺
北緯三八度四七分三六秒　東經一二一度一四分三四秒
(一)沈船
旅順港燈臺ヨリ南三九度東距離三$\frac{4}{5}$鏈（船首ヲ北西方ニ向ケ沈沒シアリシモノ）
(二)沈船
旅順港燈臺ヨリ南一八度三〇分東距離三$\frac{4}{5}$鏈
一偏差　明治四十二年四度三一分西
一關係海圖　第三五八號
一出所　明治四十二年一月二十一日附河野旅順海軍港務部長心得通報

第六五〇五項
支那東岸　香港
船渠標示浮標ノ設置
一記事　香港ノ英海軍乾船渠ニ出入スル船舶ノ爲メニ海軍艦廠附近ニ左記ノ二浮標ヲ設置セリ
(一)浮標
一位置　該浮標ヨリ St. John's Cathedral 南東端ハ南四三度四五分西、Douglas S. S. Co. Wharf 端緣燈ハ北八八度三〇分西距離約三$\frac{3}{10}$鏈
北緯二二度一七分六秒　東經一一四度九分五二秒
一樣式　紅塗繫船浮標ニシテ East Dock ト記ス
(二)浮標
一位置　該浮標ヨリ St. John's Cathedral 東端ハ南三〇度西、Douglas S. S. Co. Wharf 端緣燈ハ南八七度三〇分西距離約二$\frac{6}{10}$鏈
北緯二二度一七分八秒　東經一一四度九分四五秒
一樣式　紅塗繫船浮標ニシテ West Dock ト記ス
一偏差　一九〇八年無
一關係海圖　第四二二號第四一九號乙
一關係誌類　支那海水路誌第二卷四七頁
一出所　一九〇八年英水路部告示第一九二六號

第六五〇六項
中部揚子江
海圖中ノ改正
一記事　海圖第五〇八號（沅江第一）中、湘江及沅江總圖及Ⓐ部湘江附近ヲ別紙貼附圖ノ如ク改正ス（貼附圖略ス）

右告示ス

明治四十二年二月二日　水路部長　中尾雄

注意

一當部刊行ノ圖誌類ハ左記ノ各地ニ於テ之ヲ販賣ス
日本郵船株式會社東京本店○神戸、長崎、函館、門司ノ四支店及大阪取扱所
一此告示ノ印刷物ハ若干部ヲ前記ノ圖誌販賣所ニ備置キ無代價ニテ各航海者臨時ノ要望ニ應スヘシ
一此告示ノ印刷物ハ左記ノ韓國沿海各理事廳及帝國領事館ニモ送付シアルヲ以テ各航海者ハ臨時該處ニ就テ觀覽スルヲ得ヘシ
鎭南浦　馬山　仁川　木浦　群山　釜山　元山　城津○孟買　新嘉坡　馬尼剌　香港　盤谷
廈門　汕頭　上海　漢口　杭州　福州　芝罘　天津　牛莊　浦鹽斯德　晩香坡　シヤトル
桑港　ホノルヽ、シツニー
一海上ノ危險ヲ發見シ又ハ航海上現行圖誌ノ改補ニ必要ナル實驗ヲ爲シタルトキハ速ニ其當事者ヨリ直接水路部ニ報告アランコトヲ希望ス依テ便宜ノ爲メ水路報告用紙ト題セル印刷物若干部ヲ第一號ニ記セル各圖誌販賣所ニ備置キ無代價ニテ各航海者ノ要望ニ應ス但必スシモ此用紙ヲ用ユルニ及ハス

○韓國駐箚軍人死亡者　韓國駐箚陸軍軍人ノ死亡者左ノ如シ（陸軍省）
大分縣速見郡藤原村百八十二番地平民　步兵第四十七聯隊第二中隊　陸軍步兵一等卒　廣瀨親藏
昨四十一年九月二十一日暴徒討伐ノタメ韓國慶尙北道延豐ニ於テ宿營ノ際腸窒扶私ニ罹リ同二十五日尙州守備隊休養室ニ入室去月十九日死亡

○臺灣總督府陸軍經理部花蓮港出張所位置　臺灣總督府陸軍經理部花蓮港出張所ハ去月二十五日臺東廳下蓮鄕新港街ニ設置シ即日事務ヲ開始セリ（陸軍省）

○臺灣總督府陸軍經理部卑南出張所閉鎖　臺灣總督府陸軍經理部卑南出張所ハ去月二十五日閉鎖セリ（陸軍省）

官報　第七六七八號　明治四十二年二月二日（第三種郵便物認可）

第7678号 本文

○不要徴兵終決處分者　所在不明ノ徴兵終決處分未濟者中死亡、滿四十歳超過等ノタメ爾後調査ヲ要セサル者左ノ如シ（福井縣）

本籍	氏名	生年月日
福井市佐佳枝下町籍	高塚 平次郎	明治元、二、一八
吉田郡東藤島村大和田四一二一	北川 寅吉	元、八、二九
坂井郡長畝村松川四一一〇	小田 廣吉	元、八、一五
同郡三國町台八四	小竹 音次郎	元、九、二〇
同郡同町瀧谷三一二五	越中 善吉	元、九、七
同郡雄島村安島二五三七	大西 善藏	元、九、七
同郡大安寺村岸水一二七一	石川 喜太郎	元、一〇、一九
大野郡大野町西一番一五〇	松澤 捨吉	元、九、二
同郡同町五番八三	井戸 末吉	元、一一、一七
同郡鹿谷村本郷一四一六	前川 巳喜藏	元、一一、二〇
丹生郡宮崎村野五四四	鷲田 辰吉	元、一〇、一〇
南條郡堺村合波三一四	杉原 杉次郎	元、一一、九
遠敷郡三宅村神谷二六字濟山一三	橋本 楢助	元、一二、三

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先
野分、白雪	一、二九	佐世保		
八重山	一、三〇		佐世保	木浦
吾妻	同		同	古仁屋
明石、音羽	同	厦門		
香取、鹿島、敷島、春日、生駒、筑波、日進	一、三一		有明灣	鹿兒島
秋津洲	二、一		佐世保	古仁屋
橋立	同		橫須賀	伊勢灣

○學事

○帝國學士院和算史編纂概況　帝國學士院和算史編纂概況左ノ如シ（文部省）

從來日本ニ於ケル算學ノ發達ハ其程度頗ル高ク世々算傑等ノ諸發明ニシテ斯學ニ裨益ヲ與ヘタルモノ少カラス然ルニ斯ク必須ニシテ邦人ニ益アリシ學術モ年々ニ湮滅シテ其跡ヲ絕チ書籍モ亦漸々ニ亡失シテ殆ト其影ヲ留メサルニ至ラントス帝國學士院ハ之ヲ慨シ和算史ヲ編纂センコトヲ議決シ會員理學博士男爵菊池大麓之ヲ擔當シ明治三十九年七月ヨリ之カ調査ニ著手シ和算學ニ通曉セル遠藤利貞ニ右調査補助ヲ囑託シ先ツ第一著手トシテ同囑託員ヲ各地ヘ出張セシメ其材料ヲ蒐集シ現今既ニ該編纂ノ起稿ニ著手シツヽアリ世間此擧ヲ知ル者之ヲ贊シ各地ヨリ和算書ヲ寄贈スル者尠カラス今明治四十年及同四十一年ニ於ケル寄贈ニ係ルモノヲ概記スレハ左ノ如シ

		寄贈者	
一圓理別傳外十九部二十册	寄贈者	宮城縣仙臺市	千葉 善二
一角法演段外十四部十八册	同	山形縣新庄町	松永 常吉
一算法本源集起源外三十部七十八册	同	同縣山形市	水口 久兵衛
一算法趕捴術外二十一部三十七册	同	東京府巢鴨町	吉村 德次郎
一龜井算法二册	同	新潟縣新潟市	高橋 銳二
一算法圓理發端外六部七册	同	同縣新發田町	今井 文三
一雪山算題集解外二部三册	同	同縣刈羽郡荻日村	村山 禎次
一綠老余算合七卷一册	同	同縣三島郡日吉村	吉原 與吉
一雪山算題集解外十部十七册	同	同縣小千谷町	米岡治郎左衛門
一雪山算法圓理豁術解外十二部十三册	同	同縣同町	平澤 勘吉
一算法釣題手引草一册	同	同縣同町	關野 定太郎
一三元桑略說一册	同	同縣同町	廣川 利兵衛
一算法目錄外四部五册	同	石川縣金澤市	鈴木 俊三郎
一算法淵底記外三部十二册	同	同縣大聖寺町	西尾 治郎作
一耳目双紙外二部八册	同	同縣同町	坪川 掌吉

○留學生出發及歸朝　文部省外國留學生東京高等商業學校教授上田貞次郎ハ去月十五日、同服部教一ハ同二十一日孰モ歸朝シ同東北帝國大學農科大學林學科教授兼農科大學助教授宍戶乙熊ハ昨一日出發セリ（文部省）

○產業

○純金相場　去月二十五日ヨリ同二十九日ニ至ル各日純金相場百匁ニ付キ五百圓ナリ（日本銀行ノ報告ニ據ル）

○磅相場　去月二十五日ヨリ二十九日ニ至ル各日磅相場一磅ニ付キ九圓七十九錢五厘九毛ナリ（正金銀行ノ報告ニ據ル）

○鑛業事項　鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ（農商務省）

試掘許可

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日	事由
巖手試登錄第四百八十七號	下閉伊郡重茂村地內	鐵	四八五、四九三坪	東京市牛込區揚場町 黑岩彌吉 外二人	一、一八	試掘願許可
巖手試登錄第四百八十八號	和賀郡岩崎村地內	金、銅	二〇三、九五一	巖手縣稗貫郡花卷川口町 古川巖 外二人	一、一八	同
福島試登錄第三百七十七號	河沼郡寶坂村地內	金、銀、銅、鉛	七七二、六五〇	東京市京橋區銀座三丁目 東京寶石株式會社 外一人	一、一八	同
福島試登錄第三百七十八號	石城郡平町好間村、平窪村地內	石炭	八二六、八七九	東京府北豐島郡南千住町 赤井炭鑛株式會社	一、一八	同
山形試登錄第二百二十一號	最上郡大藏村地內	銅、鉛	一五〇、〇〇〇	山形縣北村山郡東根町 門脇壽藏	一、一八	同
秋田試登錄第三百六十六號	南秋田郡旭川村地內	石油	六二、二六五	新潟縣刈羽郡大洲村 日本石油株式會社	一、一八	同
秋田試登錄第三百六十七號	同 上	同 上	一二三、三五二	同 上	一、一八	同
秋田試登錄第三百六十八號	鹿角郡柴平村地內	金、銀、銅	六八六、〇八九	巖手縣盛岡市新庄加賀野新小路 瀨川安五郎	一、一九	同
山形試登錄第二百二十二號	北村山郡高崎村地內	金、銀、銅、鉛、亞鉛	三八六、三八六	山形縣北村山郡高崎村 小野安左衛門 外四人	一、二〇	同
福島試登錄第三百七十九號	河沼郡寶坂村地內	同	二七三、五五五	福島縣河沼郡野澤町 齊藤辰次郎	一、二一	同
巖手試登錄第四百八十九號	九戶郡山根村地內	金、銅	一一、二八二	東京市芝區西久保巴町 岡田治衛武	一、二一	同
秋田試登錄第三百六十九號	北秋田郡大葛村地內	金、銀、銅、鐵	二五四、〇〇〇	秋田縣北秋田郡大葛村 荒谷可省 外一人	一、二三	同
秋田試登錄第三百七十號	仙北郡檜木內村地內	銀、銅、亞鉛	二四〇、七二二	同縣秋田市土手長町 樋口藤藏	一、二三	同
山形試登錄第二百二十三號	南置賜郡南原村地內	金、銀、銅	五七〇、〇〇〇	山形縣米澤市上矢來町 丹赤次郎 外一人	一、二三	同

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日	事由
岡山試登錄第三百七十八號	久米郡大井東村地內	銀、銅	四七四、六四六	岡山縣久米郡大井東村 國米宗一	一、一五	同
高知試登錄第六十六號	長岡郡瓶岩村、上倉村地內	金、銀、銅、鉛、亞鉛	一〇、〇〇〇	高知縣長岡郡十市村 土居登 外二人	一、一四	試掘鑛區減區願許可
鹿兒島試登錄第三百五十五號	川邊郡西南方村地內	金、銀	九五、七八八	鹿兒島市鹽屋町 德富丸雄 外三人	一、一九	試掘願許可
鹿兒島試登錄第三百五十六號	肝屬郡小根占村地內	金、銀、銅、鉛	七九八、五九二	福岡市博多瓦町 宮崎敏榮 外二人	一、一九	同
福岡試登錄第二百九十五號	鞍手郡吉川村地內	銅	三四七、二〇〇	同市濱ノ町 佐藤忠左右	一、一九	同
山口試登錄第二百七十九號	大津郡三隅村地內	金、銀、銅	九三、一一九	山口縣大津郡三隅村 田中爲三郎	一、一九	同
福岡試登錄第二百〇三號	鞍手郡日吉村地內	銅	三一九、二二二	福岡縣企救郡企救村 辰本岩太郎 外一人	一、一九	試掘鑛區減區願許可
熊本試登錄第百二十八號	宇土郡三角町地內	石炭	二二五、六六二	熊本縣球磨郡免田村 山本好彥 外一人	一、二〇	試掘願許可
福岡試登錄第二百九十六號	遠賀郡折尾村地內	同	八五三、七七五	廣島市鑿屋町 中川實 外一人	一、二二	同
福岡試登錄第二百九十七號	鞍手郡古月村及遠賀郡底井野村地內	同	三九一、五七六	下關市關後地村 部間章	一、二二	同
長崎試登錄第百九十二號	北松浦郡山口村地內竝海面	同	八九六、六六〇	福岡縣嘉穗郡大隈町 金光豐吉 外一人	一、二二	同
熊本試登錄第百二十九號	八代郡宮地村及下松求麻村地內	格魯謨鐵	五九九、八九〇	熊本縣八代郡八代町 木村鎮定	一、二二	同
試掘鑛種名更正許可						
福岡試登錄第百四十七號	企救郡企救村地內	銅、滿俺、金、銀、鐵	二三四、八七五	福岡縣企救郡企救村 猪本茂作 外一人	一、二二	金銀鐵追加元銅滿俺鑛

試掘不許可

出願地	鑛種	面積	出願人住所氏名	處分ノ月日	事由
秋田縣北秋田郡早口村地內	金、銀、銅、鉛、亞鉛	四一三、一四八坪	秋田縣北秋田郡阿仁合町 山田米吉	一、一八	試登錄第百二十六號金銀銅鉛亞鉛鑛試掘鑛區ト全部重複ニ付キ試掘願不許可
巖手縣巖手郡松尾村地內	硫黃	二〇二、九五〇	同縣同郡二井田村 安達永藏	一、二三	出願ノ當時試登錄第百九十號硫黃鑛試掘鑛區ト全部重複ニ付キ試掘願不許可
長崎縣西彼杵郡神ノ浦村地內	石炭	一四、六一一	門司市西本町一丁目 岩尾三郎	一、一九	本出願ハ成規ノ面積五万坪ニ滿タサルニ付キ鑛業法第九條ニ依リ不許可
福岡縣鞍手郡頓野村福地村及下境村地內	同	六五〇、二五〇	福岡縣遠賀郡香月村 瓜生市三郎 外一人	一、二〇	本出願ハ福岡縣特許第五八六一號第六六三四號各石炭鑛採掘鑛區竝ニ試掘權登錄第一四〇號第一四三號各石炭鑛試掘鑛區ト重複シ該重複部分及十間ノ間隔地ヲ除去シタル殘餘地ハ三區域ニ分裂シ其各區域ハ鑛業法所定ノ面積ニ滿タサルニ付キ本願ハ不許可
長崎縣西彼杵郡黑瀨村地內	同	三三六、五九二	佐賀縣東松浦郡唐津町 山內喜兵衛 外一人	一、二二	本出願ハ長崎縣試掘權登錄第七九號第九〇號先願者ニ許可シタル試掘權登錄第一一八號第一八一號各石炭鑛試掘鑛區ト重複シ該重複部分及以上ノ試掘權登錄第七九號第一一八號鑛區ニ對スル十間ノ間隔地ヲ除去スルトキハ出願區域ハ二區域ニ分裂シ其各區域ノ面積ハ鑛業法所定ノ面積ニ滿タサルニ付キ本願ハ不許可
長崎縣西彼杵郡多以良村地內	同	一、〇三三、〇〇〇	同 上	一、二二	本出願ハ實地調查ノ結果出願區域面積ハ百万坪ヲ超過スルニ付キ鑛業法第九條ニ依リ不許可
山口縣玖珂郡藤河村地內	銅、亞鉛	一二、八五〇	山口縣玖珂郡岩國町 大島成輔 外一人	一、二三	本出願ハ出願當時山口縣試掘權登錄第二一四號銅鑛試掘鑛區ト重複シ該重複部分ヲ除去スルトキハ其殘餘地ハ鑛業法所定ノ面積ニ滿タサルニ依リ本願ハ不許可

試掘權取消

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	取消及登錄ノ月日	事由
和歌山試登錄第五十號	有田郡岩倉村地內	銅、硫化鐵	二六、〇二四坪	大阪市東區農人橋一丁目 櫻田甫 外一人	一、二七	明治四十年分及同四十一年分鑛區稅不納ニ付キ鑛業法第四十一條ニ依リ試掘權取消

○特許代理業者名簿登錄　特許局ニ於テ去月二十九日特許代理業者名簿ニ登錄セシ者左ノ如シ（農商務省）

東京府北豐島郡瀧野川村田端四百五十六番地　鈴木 八郎

廢業　京都市上京區烏丸通姉小路上ル虎屋町九番戶　田中 鐵二郎

○實用新案登錄　特許局ニ於テ昨四十一年十二月十一日ヨリ同二十日マテニ實用新案ヲ登錄セシモノ左ノ如シ（農商務省）

登錄番號	實用新案名稱	登錄證主氏名	
一〇六二	回轉用「カフス」	東京府	福田 龜吉
一〇六三	改良先鍬	愛媛縣	武內 友市
一〇六四	中田式除草器	岡山縣	中田 傳
一〇六五	製筵機	大分縣	有田 松三郎
一〇六六	木製笠	高知縣	川田 萬平、南 銀兵衛
一〇六七	井上式酒醬油酢榨袋	石川縣	井上 信
一〇六八	紋摺機械	兵庫縣	西谷 藤太郎
一〇六九	毛皮襟襯衣	大阪府	村松 岡吉
一〇七〇	實用支那靴	同	大橋 秀太郎、武井 楢松
一〇七一	「ミルクネル」	同	井上 繁太郎
一〇七二	谷本式捕鼠器	同	谷本 久三郎
一〇七三、一〇七四	玻璃鏡	同	濱川 虎之助
一〇七五	自働鼓膜按摩器	東京府	風間 藤作
一〇七六	大村式伸縮掛外除草機	香川縣	大村 友次郎
一〇七七	織物	東京府	高橋 岩次郎
一〇七八	植野式捕蠅器	同	植野 虎資
一〇七九	片岡式手袋	同	片岡 弘衞
一〇八〇	茶摘器	靜岡縣	藤江 龜太郎
一〇八一	開キ封筒	東京府	堀井 新治郎
一〇八二	「ブック」挾兼用紙切	大阪府	端田 梅吉
一〇八三	醫室用藥煙器	長野縣	神林 吉次
一〇八四	宍戶式下駄齒防損金具	廣島縣	宍戶 鄉三
一〇八五	實用鍬	兵庫縣	岩谷 治作
一〇八六	「ソッケット」用「ファイバ」	大阪府	中村 庄太郎
一〇八七	灰落シ（廣告付）	兵庫縣	塚本 節
一〇八八	古鋤銑再製器	福岡縣	溜廣 正俊
一〇八九	枝金	山形縣	湯野川 忠世
一〇九〇	「ヤマトパイプ」	東京府	細島 丑松
一〇九一	燐寸「サック」	大阪府	松井 復三
一〇九二	造花（香實）	同	佐原 忠次郎
一〇九三	精米機	廣島縣	友岡 政之助
一〇九四	朝日縮緬	東京府	堀 金次郎
一〇九五	遠足袋	同	山口 總藏
一〇九六	萬代下駄	岐阜縣	西田 岩吉、丹後 長次郎
一〇九七	敷布	埼玉縣	島田 彌三貢

第7678号 本文

番號	名稱	住所	氏名
二〇九八	自由指輪	神奈川縣	今井 規矩造
二〇九九	葛切葛製造裝置	神奈川縣	今井 規矩造
二一〇〇	「ハンカチ、グラス」	京都府	山本 清吉
二一〇一	改良鋸	兵庫縣	鈴木 重雄
二一〇二	耕耘車	大阪府	松村 福松
二一〇三	角帶時計止	同	富松 佐次郎
二一〇四	旅行用「ステッキ」洋傘	同	武田 安三郎
二一〇五	丸藥容器	同	森下 博
二一〇六	草削器	三重縣	平松 重吉
二一〇七	輕便「コルク」詰器	熊本縣	上田 彥次郎
二一〇八	便利鑵	同	田邊 仙次郎 荒川 桃太郎
二一〇九	賓入石朝日鼻緒	石川縣	大田 四郎
二一一〇	「イヤー」	東京府	馬來 晃
二一一一	「セクション、インシュレーター」	同	
二一一二	襟込狀刺	大阪府	平雄 松藏 片山 虎次郎
二一一三	谷野式杼	同	谷野 政次郎
二一一四	七福織	京都府	稻田 卯之助
二一一五	改良燈皿	同	矢田 恆次郎
二一一六	婦人「シャツ」	大阪府	棚次 辰吉
二一一七	竹材方柱荷造箱	兵庫縣	宮崎 兵之助
二一一八	狀差附略曆臺紙	大阪府	山本 多三
二一一九	電車回數切符挾	同	黑田 長三郎
二一二〇	空氣かゝと	同	萬谷 德松
二一二一	「パノラマ」(玩具)	同	宮所 宮五郎
二一二二	肩掛	京都府	中川 新太郎
二一二三	履物表	東京府	藤井 藤吉郎
二一二四	教育用摺出畫帖	同	海上 豐次郎
二一二五	杼	三重縣	淺野 新八
二一二六	乘馬式小兒車	大阪府	阪上 庄五郎
二一二七	丸藥容器	同	森下 博
二一二八	丸形髷座用除沙絲綢	愛知縣	豐田 泰治郎
二一二九	木廣齒刷子	大阪府	澤田 幸太郎
二一三〇	洋傘鐵鍔	同	伊富 貴國松
二一三一	耐久鑵	同	伊東 敬次郎
二一三二	久我式顔蒸袋器	神奈川縣	久我 元吉
二一三三	輕便轉換閘隙	東京府	友田 鐵三
二一三四	進步巻文庫	大阪府	中島 要助
二一三五	恆製寫補製造器貯蝋框	鳥取縣	岩崎 吉太郎 守本 新次郎
二一三六	襟「チョッキ」	大阪府	沼田 勇吉
二一三七	改良輕便鍬	同	井上 駒太郎
二一三八	「ペン」先拭兼根付(「インキ」兼用)	東京府	關川 常雄 同 嘉三郎
二一三九	壓搾「インキ」吸取器	同	黑田 重信
二一四〇	安全草切器	秋田縣	岩崎 熊之助
二一四一	倉島式安心「ランプ」	新潟縣	倉島 寅四郎
二一四二	「ハイカラ」浴場手拭	東京府	藤本 覺三郎
二一四三	透明開閉安全器	同	駒澤 藤吉
二一四四	優美編物貴婦人服	神奈川縣	高木 スヾ
二一四五	綾波縮緬	京都府	西村 八助
二一四六	博多縮緬	同	比賀江 平吉
二一四七	荒木式玩弄「ピストル」	大阪府	荒木 登三
二一四八	莫大小長足袋	佐賀縣	原田 義太郎
二一四九	化粧袋	大阪府	松岡 カヨ
二一五〇	洋傘柄	同	細井 彌吉
二一五一	紙製爪	同	若野 惣兵衛
二一五二	夜光織天友仙	京都府	田中 由治郎
二一五三	玩具空中飛行器	大阪府	北島 國太郎
二一五四	「モナーク」瓦	東京府	宍原 榮次郎
二一五五	「ステッキ」兼用携帶消火器	同	廣瀨 新
二一五六	精軟革底	同	高田 鐐之助
二一五七	「ゴム」製束「ゲートル」	同	小澤 磯五郎
二一五八	衛生帽子	同	川崎 熊吉
二一五九	衛生吐水嘴	同	西野 慶次郎
二一六〇	「ベニス」織	同	藤森 彌彥
二一六一	體截器一名獨按摩器	同	深谷 爲吉
二一六二	精米機	新潟縣	市村 逸作
二一六三	十回變換自在錠	東京府	中村 幸治
二一六四	榊式安全鞦韆	大阪府	榊 寅之助
二一六五	改良藁切器械	廣島縣	村上 數一
二一六六	二枚合セ鋼鐵鍬先	愛媛縣	八倉 峯太郎 品川 嘉市郎
二一六七	佐藤式苗代害蟲驅除器	香川縣	佐藤 彌八
二一六八	經木織機	高知縣	棚橋 梅治
二一六九	櫛飾	東京府 神奈川縣	玉浦 正夫 今井 規矩造
二一七〇	美術足袋甲鞐	大阪府	鳴尾 顯超
二一七一	張天井材料	同	櫻井 左一
二一七二	輕便安全注油器	山口縣	吉屋 三愛 鹿島 兼松
二一七三	肥料豆板コハシ	埼玉縣	當麻 安太郎
二一七四	便利搾絲	東京府	多崎 忠七
二一七五	書類假綴器	北海道	堀 三郎
二一七六	嵌込形石盤枠	靜岡縣	近松 金藏
二一七七	月繡金具	東京府	伊勢 金藏
二一七八	手提金庫	同	榎木 龜松
二一七九	「インキ」壺	同	關川 常介
二一八〇	島久連續器	長野縣	高田 久四郎
二一八一	棕櫚竹表張下駄	大阪府	赤野 房次郎
二一八二	新案卓上球突	東京府	福田 作太郎
二一八三	廣角式精穀機	岡山縣	廣角 辨太郎
二一八四	若盤綱用紗絲機械	愛媛縣	田中 正實
二一八五	水力應用寺松式力織機	富山縣	寺松 市四郎
二一八六	改良衛生下著	大阪府	木下 伊助

○通運

○航海奬勵認許證書下付 遞信省ニ於テ航海奬勵法ニ依リ日本郵船株式會社所有船三島丸ニ對シ去月二十九日ヨリ明治四十三年一月二十七日マテ有效ノ認許證書ヲ下付セリ該船ハ昨四十一年十二月二十八日帝國船籍ニ登錄セラレタル鋼製汽船(總噸數八千五百噸二七、最強速力十六海里五六)ニシテ同年四月十八日進水セシモノナリ(遞信省)

○衛生

○傳染病患者及死亡者數 去月六日ヨリ十日ニ至ル赤痢、腸窒扶私、痘瘡患者及死亡者數左ノ如シ(△印ハ報告未着)(內務省)

道府縣		赤痢 患者	赤痢 死者	赤痢 本年初發以來ノ累計 患者	赤痢 本年初發以來ノ累計 死者	腸窒扶私 患者	腸窒扶私 死者	腸窒扶私 本年初發以來ノ累計 患者	腸窒扶私 本年初發以來ノ累計 死者	痘瘡 患者	痘瘡 死者	痘瘡 本年初發以來ノ累計 患者	痘瘡 本年初發以來ノ累計 死者
北海道	區、郡	△				△				△			
東京	市	一	—	一	—	一九	一	三〇	二	—	—	—	—
東京	郡	—	—	—	—	二	一	四	二	—	—	—	—
京都	市	—	—	三	—	八	一	一一	一	—	—	—	—
京都	郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大阪	市	—	—	—	—	二	一	三	一	—	—	—	—
大阪	郡	—	—	—	—	二	—	二	—	—	—	—	—
神奈川	市	—	—	—	—	三	—	五	—	—	—	—	—
神奈川	郡	—	—	—	—	五	—	六	一	—	—	—	—
兵庫	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
兵庫	郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長崎	市	—	—	—	—	四	—	四	—	—	—	—	—
長崎	郡	—	—	—	—	二	—	三	—	—	—	—	—
新潟	市	三	—	三	—	—	—	一	—	—	—	—	—
新潟	郡	—	—	—	—	九	一	一〇	一	—	—	—	—
埼玉	郡	—	—	—	—	九	一	九	一	—	—	—	—
群馬	市	—	—	—	—	四	一	八	一	—	—	—	—
群馬	郡	—	—	—	—	九	一	一四	三	—	—	—	—
千葉	郡	—	—	—	—	一	—	三	—	—	—	—	—
茨城	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
茨城	郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
栃木	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
栃木	郡	—	—	—	—	四	一	一三	一	—	—	—	—
奈良	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
奈良	郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三重	市	—	—	—	—	三	—	三	—	—	—	—	—
三重	郡	—	—	—	—	一	—	一	—	—	—	—	—
愛知	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
愛知	郡	—	—	—	—	二	一	二	一	—	—	—	—
靜岡	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
靜岡	郡	—	—	一	—	七	—	八	—	—	—	—	—
山梨	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山梨	郡	三	—	三	—	一	—	一	—	—	—	—	—
滋賀	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
滋賀	郡	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	—
岐阜	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
岐阜	郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長野	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長野	郡	一	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宮城	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宮城	郡	—	—	—	—	—	一	一二	一	—	—	—	—
福島	市	—	—	—	—	二	—	三	—	—	—	—	—
福島	郡	—	—	—	—	五	—	七	—	—	—	—	—
岩手	市	一	—	一	—	—	—	一	—	—	—	—	—
岩手	郡	—	—	—	—	二	一	二六	一	—	—	—	—
青森	市、郡	△				△				△			
山形	市	—	—	—	—	一	—	一	一	—	—	—	—
山形	郡	—	—	—	—	三	一	一二	一	—	—	—	—
秋田	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
秋田	郡	—	二	一三	二	六	—	六	—	—	—	—	—
福井	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福井	郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石川	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石川	郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
富山	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
富山	郡	—	—	—	—	二	—	二	—	—	—	—	—
鳥取	市	—	—	—	—	一	—	一	—	—	—	—	—
鳥取	郡	—	—	一	一	八	—	一〇	—	—	—	—	—
島根	市	—	—	—	—	一	—	四	—	—	—	—	—
島根	郡	—	—	—	—	二	一	一六	二	—	—	—	—
岡山	市	—	—	—	—	—	—	七	一	—	—	—	—
岡山	郡	—	—	—	—	六	二	一三	五	—	—	—	—
廣島	市	—	—	—	—	二	—	二	—	—	—	—	—
廣島	郡	—	—	—	—	一	—	一	—	—	—	—	—
山口	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山口	郡	—	—	—	—	四	—	八	—	—	—	—	—
和歌山	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
和歌山	郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
徳島	市、郡	△				△				△			
香川	市、郡	△				△				△			
愛媛	市、郡	△				△				△			
高知	市、郡	△				△				△			
福岡	市	—	—	—	—	三	—	三	—	—	—	—	—
福岡	郡	—	—	—	—	四	—	一三	—	—	—	—	—
大分	郡	△				△				△			
佐賀	市	—	—	—	—	—	一	三	一	—	—	—	—
佐賀	郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
熊本	市、郡	△				△				△			
宮崎	郡	—	—	—	—	二	—	五	—	—	—	—	—
鹿兒島	市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿兒島	郡	—	—	—	—	二	—	二	—	—	—	—	—
沖縄	區	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
沖縄	郡	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一四	二
合計		九	二	二七	三	一七三	一七	三一七	二八	一	—	一四	二
前年比較		七	一	一〇	四	一五七	三一	二五六	四二	五六四	一三三	八五〇	一三六

○雜事

○感化法施行期日變更 內務大臣ハ感化法第十四條ニ依リ本年十月一日ヨリ兵庫縣ニ感化法ヲ施行スルコト、定メタルモ今般來ル三月一日ヨリ施行ノコトニ變更セリ(內務省)

正誤

去月二十日本欄鑛業事項ノ項中和歌山試登錄第百二十二號鑛區所在地下里村ノ下太田村ハ下太田村面積五六一、三七九ハ五六一、三八〇ノ孰モ誤 同二十七日同島根試登錄第七十二號鑛區所在地木部村ノ下ニ及山口縣阿武郡彌富村ノ十字ヲ岡山試登錄第三百六號同稻原村ノ下ニ、粟廣村ヲ孰モ脫ス鑛種銀、銅ハ銅、鉛ノ誤

同二十七日同愛媛試登錄第三百五十五號鑛業權者ノ住所山之石村ハ川之石村ノ誤植

農商務書記官

○帝國議會

○貴族院

○會議 昨一日會議ノ初ニ於テ議院ハ堀之內庄右衛門死去ニ付キ弔辭ヲ贈ルコトヲ議決シ次テ議事日程第四號ノ會議ニ移レリ其議事經過左ノ如シ

子爵堀田正養、宮島誠一郎、濱口吉右衛門請暇ノ件

右請暇ハ孰モ之ヲ許可ス

執達吏規則中改正法律案(政府提出)

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選擧ハ議長指名ニ決ス

執達吏手數料規則中改正法律案(政府提出)

右議案ハ連繫事件トシテ之カ審査ヲ執達吏規則中改正法律案特別委員ニ付託スルニ決ス

度量衡法改正法律案(政府提出)

右議案ハ第二讀會ヲ開クニ決ス

○國務大臣出席 大浦農商務大臣ハ昨一日ノ會議ニ出席セリ

○委員長報告 昨一日度量衡法改正法律案特別委員長伯爵柳原義光ハ該法案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告セリ

○特別委員選定 昨一日議長ニ於テ特別委員ヲ左ノ如ク選定セリ

執達吏規則中改正法律案、執達吏手數料規則中改正法律案

伯爵 大木 遠吉　男爵 高崎 安彥　石渡 敏一
子爵 酒井 忠亮　男爵 千秋 季隆　馬屋原 二郎
男爵 關 義臣　男爵 奧山 政敬　櫻木 嘉右衛門

○主査互選　昨一日常任委員ノ各分科ニ於テ主査ヲ互選セリ其結果左ノ如シ

豫算委員

第一分科　主査　子爵　曾我　祐準

第二分科　主査　淺田　德則

第三分科　主査　男爵　船越　衛

第四分科　主査　伯爵　柳澤　保惠

第五分科　主査　子爵　三島　彌太郎

決算委員

第三分科　主査　男爵　相浦　紀道

○席次及部屬　昨一日議員ノ席次及部屬左ノ如ク確定セリ

岡谷　繁助（橋本雄造ノ次席 第八部）

○書類配付　昨一日左ノ書類ヲ配付（文書函ニ投入）セリ

請願文書表（第一回報告）中正誤

又政府ヨリ衆議院ニ提出シタル左ノ議案ハ參考ノタメ昨一日之ヲ配付（文書函ニ投入）セリ

明治四十一年度歳入歳出總豫算追加案（第二號）

明治四十一年度各特別會計歳入歳出豫算追加案（特第一號）

○議員死去及弔辭　鹿兒島縣選出多額納税者貴族院議員堀之内庄右衛門ハ去月三十日死去ニ付キ昨一日左ノ弔辭ヲ贈レリ

貴族院ハ議員堀之内庄右衛門君ノ長逝ヲ追悼シ恭シク弔辭ヲ呈ス

○委員會　今二日開會ノ委員會左ノ如シ

請願委員法制科分科會　午前十時

○衆議院

○議案提出　昨一日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

（第二號）明治四十一年度歳入歳出總豫算追加案

（特第一號）明治四十一年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

○質問書提出　議員ヨリ政府ニ對シ左ノ質問主意書ヲ提出セリ

韓國横貫鐵道敷設ニ關スル件（金尾稜嚴外二名）
法廷ノ規律竝ニ附帶控訴ニ關スル件（高木益太郎）
共同苗代ノ強制ニ關スル件（横山金太郎外二名）
　去月二十九日

國務大臣ノ資格及其發言ノ責任ニ關スル件（花井卓藏外一名）
政府委員ノ發言ノ責任ニ關スル件（花井卓藏）
日露戰役中個人ノ損害ニ對スル救濟ニ關スル件（金尾稜嚴）
　昨一日

○豫算委員所屬員異動　昨一日豫算委員第二分科所屬員吉植庄一郎ハ第六分科兼務ト爲リタリ

○請願委員所屬員異動　昨一日請願委員第四分科所屬員大内暢三ハ第一分科兼務ト爲リタリ

○委員會　今二日開會ノ委員會左ノ如シ

豫算委員第一分科會（外務省、司法省及文部省所管）
豫算委員第二分科會（内務省所管）
豫算委員第三分科會（大藏省所管）
豫算委員第四分科會（陸軍省及海軍省所管）
豫算委員第五分科會（農商務省所管）
豫算委員第六分科會（遞信省所管）
輸入原料砂糖戻税法中改正法律案委員會
請願委員第二分科會
　以上午前十時

○地方行政

○縣歳入出及罹災救助基金收支豫算額　山口縣ニ於ケル明治四十二年度縣歳入出及罹災救助基金收支豫算額左ノ如シ（△印ハ減）（山口縣）

科目	決議額	原案額	比較増減
歳入			
經常部			
地租割	三五三、七六八圓	三五三、七六八圓	一圓
營業税	一一〇、三二九	一一〇、三二九	一
雜種税	二一九、一五九	二一九、一五九	一
營業税附加税	三〇、五五六	三〇、五五六	一
鑛業税附加税	一、一九二	一、一九二	一
所得税附加税	一七、三九八	一七、三九八	一
戸數割	三六一、二三二	三七〇、九九二	△ 九、七六〇
財産收入	四	四	一
國庫下渡金	四三、六八五	四三、九〇三	△ 二一八
雜收入	六九、七二三	六九、八三二	△ 一〇九
合計	一、二〇七、〇四六	一、二一七、一三三	△ 一〇、〇八七
臨時部			
繰越金	五三、八四二	五三、八五二	△ 一〇
國庫補助金	四一、四四二	四一、四四二	一
寄附金	一、七〇二	一、七〇二	一
財産賣拂代	一八六	一八六	一
合計	九七、一七二	九七、一八二	△ 一〇
總計	一、三〇四、二一八	一、三一四、三一五	△ 一〇、〇九七
歳出			
經常部			
警察費	三三四、四一〇	三三五、七四二	△ 一、三三二
警察廳舍修繕費	三、三七七	三、三七七	一
土木費	九六、〇六六	九六、〇六六	一
縣會議諸費	九、六九六	九、六九六	一
衛生及病院費	七九、七三五	八〇、五九八	△ 八六三
教育費	二三五、二四五	二四〇、五二七	△ 五、二八二
郡縣舍修繕費	二、二六一	二、二六一	一
郡役所費	八六、四三三	八六、六七三	△ 二四〇
教育費	一、八〇〇	一、八〇〇	一
諸達書及揭示諸費	三、〇四一	三、〇四一	一
勸業費	一四〇、七八〇	一四〇、九二六	△ 一四六
縣税取扱費	三一、九八〇	三二、三七五	△ 三九五
縣廳舍修繕費	八四四	八四四	一
衆議院議員選擧費	八〇	八〇	一
縣會議員選擧費	一三〇	一三〇	一
縣吏員費	三〇、九五〇	三〇、九五〇	一
財産費	五二	五二	一
行政執行法處分費	一〇〇	一〇〇	一
縣社費	一七〇	一七〇	一
豫備費	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇	一
合計	九六九、一六〇	九七七、四一八	△ 八、二五八
臨時部			
警察廳舍建築費	四、〇五二	四、〇五二	一
土木費	四三、五〇七	四三、五〇七	一
郡市町村土木補助費	七〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇	一
衛生及病院費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一
市町村傳染病豫防補助費	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	一
教育費	一、三七一	二、七一〇	△ 一、三三九
教育補助費	一〇、九九二	一一、四九二	△ 五〇〇
勸業費	九五八	九五八	一
勸業補助費	一一、〇〇〇	一一、〇〇〇	一
航海業補助費	一、二〇〇	一、二〇〇	一
小學校教員恩給金繰入	三、八四四	三、八四四	一
警察費本年度支出額	三三、四〇〇	三三、四〇〇	一
土木費本年度支出額	七〇、四九一	七〇、四九一	一
郡市町村土木補助費本年度支出額	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一
教育費本年度支出額	四三、八八二	四三、八八二	一
郡市町村教育補助費本年度支出額	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一
勸業費本年度支出額	四、二六一	四、二六一	一
縣有模範林毀本年度繰入金	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一
合計	三三五、〇五八	三三六、八九七	△ 一、八三九
總計	一、三〇四、二一八	一、三一四、三一五	△ 一〇、〇九七
罹災救助基金收支			
收入	四二、六六一	四二、六六一	一
支出	二三、五八五	二三、五八五	一

○在外公館報告

○絕東自由港廢止法案可決　絕東自由港廢止法案可決ノ件ニ關シ在露國臨時代理大使落合謙太郎ヨリ去月二十八日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（去月二十九日本欄參看）（外務省）

昨二十七日絕東自由港廢止法案ハ上院ノ總會議ニ上リ同院ハ委員會ノ報告ニ同意シ下院ヨリ回リタル原案ヲ其儘可決セリ

○英國世界博覽會　本年五月ヨリ英國倫敦ニ於テ英國世界博覽會ヲ開催セラルヘキ趣同地駐在總領事坂田重次郎ヨリ報告アリタル旨其筋ヨリ通知ニ接セリ仍テ左ニ之ヲ譯載シ當業者ノ參考ニ資ス（農商務省）

千九百九年英國世界博覽會

英國世界博覽會ハ近ク英佛博覽會ノ會場タリシ倫敦シェパードブッシュナル大白街（グレートホワイトシチー）ニ於テ千九百九年五月上旬ニ開會シ同年十月之ヲ閉會ス

博覽會ノ唯一目的

本博覽會ノ特色ハ諸外國竝ニ其殖民地、保護國及不列顛帝國等カ夫々優秀卓越ナル生産品、製造品ヲ陳列シ包括的ニシテ而モ實際的ナル方法ヲ以テ自國ノ特技ヲ世界ニ紹介シ又ハ觀覽者ヲシテ各國ノ科學、美術、製造業等ノ各方面ニ於ケル近代的思想努力ノ最高結果ヲ一目瞭然タラシムルニ在リ故ニ此ノ如キ博覽會ノ效果タルヤ必ヤ各國ヲシテ特殊ノ教訓ニ接セシメ相互國際間ノ友誼ト好意トヲ増進セシメ竝テハ全般ノ商業關係ヲ擴充スルニ至ラシムルハ言フヲ俟タサル所ナリ

千九百八年英佛博覽會ノ大成效

聯合王國又ハ不列顛帝國内ニ開設セル從來ノ博覽會中ニ在リテ頃者其光榮アル閉會ヲ告ケタル英佛博覽會ハ規模廣大ニシテ而モ世界的ニ觀覽者ヲ集メタル最モ成功セルモノタリシナリ該博覽會ハ英佛兩國ヲ連結スル政治上商業上ノ紐約ヲ一層強固ニスヘシトノ目的ヲ以テ組織セラレ開會式典ニハウェールス親王同妃兩殿下ノ臨場アリ又皇帝エドワード七世陛下及佛國大統領ファリエトル閣下殊ニ英國皇后アレキサンドル陛下ノ屢〻臨場セラレヽアリ然レハ輿論ノ代表者タル新聞紙ハ異紙同調ニ讃辭ヲ揭ケ一般公衆亦之ニ和スル所アリ卽チ博覽會ハ前例ナキ方法ヲ以テ兩國民ニ訴ヘタルモノナリト稱セリ

英佛博覽會カ齎シタル政治上、社會上、商業上ノ利益ハ發案者及經營者ノ豫期以上ニ達シ現在兩國政府竝ニ人民間ニ存スル友情及相互尊敬ノ感情等ハ主トシテ該博覽會カ美術工業上ノ大陳列ヲ爲シタルト兩國同胞市民ノ生産品ヲ親シク觀覽シタル多數英佛國民ノ念頭ニ生シタル好感トニ基クモノナリト爲スハ決シテ過言ニアラス之ト同時ニ出品者ノ政府タルト公共團體タルト將タ個人ノ商會タルトニ論ナク均シク滿足ナル結果ヲ生シ製造品ノ新販路ヲ發見シ又他ノ方法ヲ以テシテハ容易ニ獲得スヘカラサル公衆ノ注意ト聲譽トヲ博スルヲ得タリ

會場ノ位置

本博覽會ノ敷地ハ全市内若クハ附近ノ地ニ在リテ最好ノ位地タルコトヲ英佛博覽會ニ由リテ明ニ經驗セリ卽チ倫敦、ミッドルセックス、サアーレー等ノ何ノ部分ヨリスルモ最モ來會シ易ク又鐵道ノ便及低廉迅速ナル輸送ヲ爲シ得ルモノ此地ニ過キタルハナシ殊ニ此等ノ利便ハ倫敦市ノ輸送等ニ變更ヲ與ヘ日常ノ商業生活ヲ妨害スルコトナクシテ得タルモノタルハ大ニ異常トスル所ナリ

博覽會ノ陳列館

千九百九年英國世界博覽會ノ出品物ハ白街（ホワイトシチー）ナル讃辭ヲ得タル二十ノ陳列館ニ展列セラルヘシ孰モ建築美ノ奇觀ニシテ特ニ火災豫防ニ意ヲ用ヒテ建設シ一箇ノ木片タモ使用スルコトナシ正門ト「ウッドレーン」門トノ中間ニハ八大陳列館建設セラレ各〻幅七十呎長サ四百呎ヲ有ス敷地ノ全廣袤ハ百四十噸ニ亙リ機械館（附屬建築物ヲ合セテ陳列面積百万平方呎ノ四分ノ一ヲ有ス）、美術館、心藝館、學藝館、教育館、社會經濟館、衛生館、化學工業館、食料館、運輸館、應用美術館、婦人館、音樂館等ニ對シテ充分ナル面積ヲ供セリ其他ノ建築物ハ純粹ニ個人的出品物及興行物、飲食店等ニ使用セラルヘシ

各國ノ療養地

大陸及聯合王國ノ各療養地ハ其衛生上ノ利益ヲ概見シ得ンカタメニ其特色特效物竝ニ附近ノ風光等ヲ展覽ニ供センコトヲ希望ス是レ觀覽者ノ世界ノ名所竝ニ之ニ達スル便法ヲ識得センカタメナリ

會場ニ來ル各種ノ通路

英國世界博覽會竝ニ其會場ニ通スル便益ハ今ヤ凡テノ觀客ニ亙リテ承認ト賞讃トヲ得ルニ至レリ中央倫敦ヨリ十五分時距離ニ在ル正門ハ直ニ中央倫敦鐵道ノシェパードブッシュ停車場ニ接シ又西倫敦鐵道倫敦及北西鐵道大西鐵道等ノアックスブリッチ、ロード停車場ニ連ル倫敦及南西鐵道ノシェパードブッシュ停車場亦之ニ近シ博覽會ノ「ウッドレーン」門ハ直ニ中央倫敦鐵道ノ終點及ハムマースミストアルドゲートトヲ連結スル市街大西方鐵道ノ一停車場ニ接セリ卽チ博覽會ハ倫敦市及其附近ト交通ノ利便ヲ供スル鐵道及乘合馬車ノ中樞點ニ位スルモノト謂フヘシ是ヲ以テ英佛博覽會ノ來觀者ハ非常ニ多數ナリシニ拘ラス會場ノ出入及來館者ノ集散ニ於テ何等ノ困難ヲ感セサリシナリ

美術

繪畫彫刻及美術品ハ概シテ一陳列館内ニ展示セラレ觀客ヲシテ凡テノ流派中ノ天才アル畫家ノ優秀ナル代表作ヲ觀覽セシメントス

歴史部

本博覽會ニ參同スル各國及各殖民地ハ其歴史、科學、美術、農業、製造業等ニ起リタル國内ノ進歩ヲ説明スル歴史部ヲ置クヲ要ス是レ觀客ヲシテ近代歐米ノ開化ヲ來シタル漸進的發展ニ關シ一目了解スル所アラシメンカタメナリ

博覽會ヘノ汽車旅行

倫敦ニ來ルヘキ大陸ノ觀客ニ對シテハ旅客及陳列品ノ運搬ニ關シ多數ノ鐵道會社ト有利ナル協議ヲ試ミ旅行列車ハ各地方大都市ヨリ直ニ博覽會場ニ向ヒ發スルコトヽ爲レリ

音樂ト興行物

英佛博覽會ニ於ケルモノト同樣ノモノタラシメンカタメニ音樂ニハ殊ニ注意スル所アリ高等多種ノ館樂亦開設セラルヘシ

競技場

博覽會ニ接近シテ彼ノ千九百八年「オリムピア」競技ヲ開設セル競技場アリ此種建築中世界最美ト稱セラル、競技場ハ約十万人ヲ收容スヘク而モ觀客ニ對シ各競技ヲ支障ナク目睹セシムルヲ得ヘシ場内ノ地面ニハ「クリッケット」ト野球其他ノタメニ芝草ヲ置キ水泳競走、自轉車等ノ競技亦同年夏期中ニ演技セラレタリ

庭園倶樂部

英佛博覽會ノ興味アル一考案タリシ庭園倶樂部ハ再ヒ開設セラルヘシ

陳列面積ノ申込

陳列面積ノ多分ハ既ニ豫定ノ配當ヲ經タルヲ以テ外國及英國ノ協會、製造家、生産者等ハ書式ニ從ヒ成ルヘク迅ニ陳列面積申込書ヲ送付センコトヲ要ス是レ委員會ノ檢閲ヲ受クルタメニシテ委員會ハ

第 7678 号　本文

其許ト其他ノ要點トヲ決定スルモノナリ機械ノ運轉ニ動力ヲ要スル出品ハ申込書ニ記入ノ際之ヲ通告スヘシ

郵便、電信、電話、銀行等ニ關シテハ出品人及來觀者ノ便宜ヲ圖リ博覽會内ニ適當ノ便法ヲ設クヘシ

商務省ハ英國世界博覽會タル以テ一世界博覽會タルト同時ニ千八百八十三年ノ特許、意匠、商標規則ニ關スルモノト證明セリ

審查

大賞牌、名譽賞牌、金牌、銀牌、銅牌、名譽褒狀、證明狀等ハ萬國審査會ノ判定ニ基キ出品人ニ授與セラルヘシ

陳列面積料

百平方呎以下　一平方呎ニ付キ　十志
百平方呎ヨリ二百平方呎マテ　同　九志
二百平方呎ヨリ三百平方呎マテ　同　八志
三百平方呎ヨリ四百平方呎マテ　同　七志
四百平方呎ヨリ五百平方呎マテ　同　六志
五百平方呎以上ノ面積ハ一平方呎ニ付キ五志ノ割合トス

列國政府又團體ニシテ大部ノ面積ヲ要シ或ハ陳列館ノ全部又ハ一部ヲ通路ト共ニ使用セントスルトキハ特別ノ契約ヲ爲スコトヲ得ヘシ

屋外面積又ハ特許營業ニ關スル條件ハ申込書式ニ在リ申込書式竝ニ其他詳細ノ事項ハシェパードブッシュマックファーレーン街博覽會事務局書記官宛ニ問合スヘシ

出品類別

第一類	教育	第六類乙 同	第十類 食料品
第二類	美術	第六類丙 同	第十一類 採礦冶金
第三類甲	心藝	第七類 農業	第十二類甲 製師
第三類乙	同	第八類 園藝	第十二類乙 同
第四類	機械		第十三類 總物
第五類	電氣		第十四類甲 化學、工業
第六類甲	土木、運輸	第九類 林業、狩獵、漁業	第十四類乙 同
		牧畜	第十五類 各種工業
			第十六類 社會經濟
			第十七類 同
			第十八類 同

○孟買綿花市況　孟買ニ於ケル綿花市況ニ付キ同地駐在領事藤田敏郎ヨリ去月二十六日（外務省）

本欄内參看

○上海綿花及綿絲市況　上海ニ於ケル綿花及綿絲市況ニ付キ同地駐在總領事永瀧久吉ヨリ去月二十七日（外務省）

本欄内參看

綿花市況ハ過正月ハ明ケタレトモ當市場ハ今後一二週間ヲ經サレハ捗ニキ取引ヲ見サルヘシ通州器械繰二〇兩二〇、印度絲手倉高二二〇三在荷二三五〇〇、本邦絲入荷調澤在荷六五〇〇、盛意十六手一〇一兩二五、立馬十六手一〇一兩

○里昂生絲及羽二重市況　里昂ニ於ケル生絲及羽二重市況ニ付キ同地駐在副領事水島孝藏ヨリ去月二十日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ

去月二十六日（外務省）

本欄内參看

生絲値段持合セ當座用取引弗々一番中器標絲九乃至十一「デニール」相場四十三法見當羽二重國氣配越前尺五、六付相場四十一法中見當機シテ佛英共ニ不振獨逸稍活氣ヲ呈ス

○觀象

一月二十九日

氣壓　溫度　風　雨量　天氣

○天氣概況　高氣壓揚子江域及蒙古ニ發達シタルタメ本邦西部ハ是カタメニ氣壓ノ急昇ヲ呈シ日本海及四國沖ニ在リシ低氣壓ハ急速ニ東行シ去リ今朝一ハ北海道南方海上ニ他ハ房州沖ニ去レリ爲ニ天候ハ概ネ急速ニ回復シ冬期ノ常態ニ復シ大平洋岸及内海地方ハ天氣晴朗ナレトモ其他ノ地方ハ概シテ曇天ニシテ降雪ス處アリ又北海道東部ニテハ風雪烈シク濃霧地方ニテハ天氣引續キ晴朗ナリ氣溫ハ數番ノ氷點下三十二度ト恒春ノ十七度ノ間ニ在リ

○低氣壓概報

一、一月三日―四日揚子江域ヨリ來リシ大陸低氣壓　一日揚子江ノ上流域ニ發生シ東行シ來リニ日ノ夜上海附近ヲ經テ東海ニ入リ三日ノ夜九州北部ヲ經テ四日紀州牟岐ヲ横キリ同日午後房州沖ニ去ル此低氣壓ハ東行スルニ從ヒテ著シク發達シ本邦東部ニ雨雪ヲ降シタリ　最低氣壓　七百五十粍

根室、函館、釧路、盛岡雨標取扱所ヘ左ノ電報ヲ發ス

二十九日午前六時　颶風ノ中心ハ北海道ノ南方海上ニ在リ其示度七百五十四粍ニシテ北東ヘ進行ス其速度毎時二十粍

○全國天氣豫報

自二月二日午後六時　至二月三日午後六時　二十四時間ノ天氣豫報　一日發

第一區　北東ノ風、概ネ晴
第二區　北ノ風、概ネ晴但シ雨模様アリ
第三區　第二區ニ同シ
第四區　第二區ニ同シ
第五區　北西ノ風、概ネ雨後霽レル模様アリ
第六區　第五區ニ同シ
第七區　南西ノ風、概ネ曇但シ雪模様アリ
第八區　北西ノ風、概ネ曇但シ雪模様アリ
第九區　南西ノ風、概ネ曇
第十區　第七區ニ同シ

○東京地方天氣豫報

北ノ風、雨後霽レル模様アリ

○暴風警報

風雨ノ强カラントスル虞アリ一月三十一日午後四時一、二區及二月一日午前九時五區ヲ警戒ス

○東京氣象

一月三十一日

氣壓（海面ノ度）		七六、六四粍	日照時間	九、三時
平均		一、五度	平均速度	四、四粍
氣溫	平均（平年ヨリ一、四度低シ）		最大速度	九、七粍
	最高 六、〇度		風向	北西
	最低 二、二度		降水	一粍
濕度	平均	四四、%（一）	總時間	一粍
水蒸氣張力	平均	二、二粍	最大量	二、五粍
雲量	平均	四、七	總量	二、五粍
			日暈	夜暈アリタリ
			記事	（以上中央氣象臺）

○廣告

○圖書發行

本局編纂

一法令全書　明治四十一年第拾貳號　全一册　代價郵稅共金十八錢

右去月二十五日發行本局直營ノ外左記官報販賣所ニ於テ販賣ス

但シ郵送ヲ要セサルモノハ金四錢ヲ減ス

明治四十二年二月　印刷局

販賣所	位置
東京府	東京市京橋區銀座一丁目
大阪府	大阪市西區靱中通一丁目
京都府	京都市上京區柳馬場通二條下ル
愛知縣	名古屋市東區京町四丁目
三重縣	岐阜縣
岡山縣	島根縣
愛媛縣	德島縣
佐賀縣	福岡縣
鹿兒島縣	沖繩縣
大分縣	熊本縣
長野縣	富山縣
福島縣	岩手縣
秋田縣	山形縣
青森縣	北海道
宮城縣	茨城縣
栃木縣	群馬縣
埼玉縣	千葉縣
神奈川縣	山梨縣
長野縣	靜岡縣
三重縣	滋賀縣
京都府	大阪府
兵庫縣	和歌山縣
鳥取縣	島根縣
岡山縣	廣島縣
山口縣	香川縣
愛媛縣	高知縣
德島縣	福岡縣
長崎縣	熊本縣
大分縣	宮崎縣
鹿兒島縣	沖繩縣
福井縣	新潟縣
富山縣	石川縣
岩手縣	福島縣
青森縣	秋田縣
北海道	山形縣

東京市京橋區銀座一丁目　大日本圖書株式會社

大阪市西區靱中通一丁目　玉手弘通

京都市上京區柳馬場通二條下ル　合資會社南報會社

名古屋市東區京町四丁目　會社永東書店

廣島市大手町二丁目　早速謙三郎

丸善株式會社　許一郎

福岡市博多中島町　木村三郎

熊本市新町二丁目　石田忠兵衛

新潟市木町通四番町　長崎次郎

金澤市片町　富樫源平

仙臺市東三番丁　鄰宮佐々木重兵衛

○官報等代價納付方注意

當局ヘ納付ノ官報及法令全書其他ニ對スル代金ハ品名及住所氏名ヲ明記シタル仕譯書ヲ其金券又ハ規定ノ通知書ニ添付シ印刷局收入官吏中野鐙三郎ニ宛テ書留郵便ニテ發送セラルヘシ

明治四十二年二月　印刷局

○檢定教科用圖書

高等女學校歷史科用　全一册　定價金五十錢

修女子東洋史教本

正　明治四十二年一月十八日修正四版發行

著作者　兵庫縣士族　下村　三四吉

發行者　東京府東京市京橋區南傳馬町二丁目五番地　東京府平民　河出　靜一郎

右明治三十九年三月十五日檢定濟ノ處修正發行セリ依テ更ニ明治四十二年一月二十九日檢定ス

中學校博物科用　定價金五十錢

訂中等修身教科書　全一册

正　明治四十二年一月二十五日訂正四版發行

著作者　香川縣士族　大渡　忠太郎

發行者　東京府東京市京橋區南傳馬町二丁目五番地　東京府平民　河出　靜一郎

右明治三十九年三月十五日檢定濟ノ處修正發行セリ依テ更ニ明治四十二年一月二十九日檢定ス

近世植物學教科書　全一册　定價金五十錢

明治四十二年一月二十五日訂正七十版發行

著作者　香川縣士族　大渡　忠太郎

發行者　東京府東京市小石川區小日向水道町七十三番地　東京府平民　西野　虎吉

右明治三十五年六月五日檢定濟ノ處修正發行セリ依テ更ニ明治四十二年一月二十九日檢定ス

中學校修身教科用

訂中等修身教科書　全五册　定價卷一、二、三各、金二十錢、卷四、五各、金二十五錢

正　明治四十二年一月二十五日訂正四版發行

著作者　東京府士族　桑木　嚴翼

發行者　東京府東京市神田區南乘物町九番地　明治圖書株式會社

右明治四十年二月二十二日檢定濟ノ處修正發行セリ依テ更ニ明治四十二年一月二十九日檢定ス

明治四十二年二月　文部省

○證狀無效

第四九八號　汽船住ノ江丸船舶國籍證書

第一一五號　汽船幸雍丸甲種船舶檢查證書（以上滅失）

第九二五〇號　丙種運轉士免狀（明治三十四年四月十二日附）

第九〇三號　同（明治三十三年十月）

第一六二六號　汽船笠井丸甲種船舶檢查證書（以上流失）

右孰モ屆出ニ依リ無效トス

明治四十二年二月　遞信省

第 7678 号　本文

第 7678 号　本文

第 7678 号 本文

仕拂未濟配當金	九、七七二・四六九
假收入雜勘定	一四、五八〇・一三九
退職及特別手當基金	一八、八三三・九〇〇
行員身元保證金	三七、四四八・〇四〇
前期繰越	九七、三一七・二二〇
當期利益金	四一二、九六一・九〇〇
總計	七五、七七九、〇一八・五一〇

損益勘定

當期總益金	二、四六八、五九五・八七一
當期總損金	二、〇五五、六三三・九七一
差引當期利益金	四一二、九六一・九〇〇
外ニ前期繰越	九七、三一七・二二〇
合計	五一〇、二七九・一二〇
内	
損失補塡準備金	六六、〇九三・〇〇〇
配當平均準備金	一六、五四六・〇〇〇
第一配當金（一株ニ付キ二圓五十錢卽チ年五分ノ割）	一二五、〇〇〇・〇〇〇
重役賞與金	四一、二〇〇・〇〇〇
第二配當金（一株ニ付キ二圓五十錢卽チ年五分ノ割）	一二五、〇〇〇・〇〇〇
特別積立金	三九、〇〇〇・〇〇〇
後期繰越	九七、四四〇・一二〇

明治四十二年一月

株式會社日本勸業銀行
總裁　高橋新吉
副總裁　志村源太郎
理事　有尾敬重
理事　五十嵐敬止
理事　川上直之助

前記各項ヲ調査シ其適法正確ナルヲ認ム

監査役　松尾寛三
監査役　谷謹一郎
監査役　大谷嘉兵衛

○東京郵便局外國郵便締切時限

明三日横濱マテ汽車便送同地ヨリ丹後丸ヲ以テビクトリア經由歐米ヘ差出ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局	小包	
通常（普通）	三日午前十時	二日午後十時	二日午後七時	同日午後五時
通常（書留）	同日午前九時半	同上	同日午後四時（爲替）	同日正午十二時（聯合）
			同日正午十二時（特別）	同日午前九時半

（備考）小包ハ北米合衆國、ポートリコ及加拿陀宛トス

同日横濱マテ汽車便送同地ヨリ「アラビア」號ヲ以テ桑港經由（直航）歐米ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
通常（普通）	三日午後零時半	三日午前九時半
通常（書留）	同日正午十二時	同上

明後四日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ「リーメン」號ヲ以テ浦潮斯德經由西伯利、歐洲、南米（伯剌西爾、亞爾然丁、巴拉圭、烏爾圭）ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局	小包	
通常（普通）	四日午後七時半	四日午後五時	同上	同上
通常（書留）	同日午後七時	同上	爲替（聯合）同日午後四時	同日正午十二時
價格表記	同上	同上	特別 三日午後四時	三日午後四時

（備考）露國以外諸國宛通常郵便物ハ本便差立ノ指定アル書狀及葉書ニ限ル

本月六日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ「ガバナー、エスケ」號ヲ以テ浦潮斯德經由西伯利、歐洲、南米（伯剌西爾、亞爾然丁、巴拉圭、烏爾圭）ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局	小包	
通常（普通）	六日午後七時半	六日午後五時	同日午後七時	六日午後五時
通常（書留）	同日午後七時	同上	爲替（聯合）同日午後四時	同日正午十二時
價格表記	同上	同上	特別 四日午後四時	四日午後四時

（備考）露國以外諸國宛通常郵便物ハ本便差立ノ指定アル書狀及葉書ニ限ル

○同上締切豫告

本月中外國郵便締切豫定日左ノ如シ

一タコマ經由同上　七、二十四日頃締切ノ筈
一布哇經由同上　十、二十、二十七日頃締切ノ筈
一シアトル經由歐米諸國宛　十七日頃締切ノ筈
一加拿陀經由同上　二十一日頃締切ノ筈
一西伯利經由ノ歐洲諸國及南米（伯剌西爾、亞爾然丁、巴拉圭、烏爾圭）宛ハ毎週火、木、土曜日ニ、上海、香港竝ニ印度地方ヘハ毎週數回ノ差立アルニ依リ隨時差出ス方速達ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船横濱出發表

讚岐丸（歐洲行）　明三日正午十二時横濱出帆本月六日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、ポートサイド、馬耳塞、倫敦、アントワープ行

丹後丸（米國行）　同日午後二時横濱出帆ビクトリア、シアトル行（歐米各地行通船客切符及通船荷證券ヲ發行ス）

鹿兒島丸　同日午後四時横濱出帆神戸行

辨天丸　明後四日未明横濱出帆荻ノ濱、函館、小樽行（船客ヲ搭載セス）

博愛丸　同日午前十時横濱出帆同六日午前十時神戸出帆上海行（門司、長崎經由）（横濱、神戸棧橋繫留）

伏木丸　同日午後四時横濱出帆神戸、門司、基隆、安平、打狗行（船客ヲ搭載セス）

兵庫丸　本月五日午後二時横濱出帆八丈島、父島、母島行

八幡丸（濠洲行）　同六日正午十二時横濱出帆同九日午前十時神戸出帆門司、長崎、香港、マニラ、木曜島、タウンスビル、ブリスベーン、シドニー、メルボルン行

松山丸　同日午後四時横濱出帆神戸行

天津丸　同七日未明横濱出帆荻ノ濱、函館、小樽行

加賀丸　同八日午前十時横濱出帆同十三日午前十時神戸出帆門司、上海、香港行（米國線復航）

高砂丸　同日正午十二時横濱出帆四日市、神戸、門司、仁川、大連行

和歌浦丸　同十日午後四時横濱出帆神戸、門司、基隆、安平、打狗行

○同上神戸等出發表

山口丸　明三日午前十時神戸出帆上海行（門司、長崎經由）（神戸棧橋繫留）

毎日（午後十一時（直航）　青森發　翌朝五時　函館著
毎日（午後六時（直航）　青森發　翌朝六時　室蘭著

○大阪商船株式會社汽船神戸等出發表

韓國行

溫州丸　明三日午前九時大阪出帆同日午後一時神戸出帆門司（下關）、釜山、木浦、群山、仁川行

淸國行

油頭丸　本月五日午前九時大阪出帆同日午後一時神戸出帆門司（下關）、釜山、元山、城津、淸津行

鐵嶺丸　明三日午前十時神戸出帆翌日午後一時門司出帆大連行

開城丸　本月七日午前十時神戸出帆翌日午後一時門司出帆大連行

天草丸　同十日午前十時神戸出帆翌日午後一時門司出帆大連行

臺灣行

嘉義丸　明後四日正午十二時神戸出帆宇品、門司、長崎、基隆、澎湖島、安平、打狗行

福岡丸　本月七日正午十二時横濱出帆同十二日午前八時神戸出帆、門司、基隆、安平、打狗行

臺南丸　毎月八日、二十三日正午十二時神戸出帆門司、基隆行

臺東丸　毎月十五日、三十日午前六時神戸出帆門司、基隆行（船客ヲ搭載セス）

臺中丸　毎月十五日、三十日正午十二時神戸出帆門司、基隆行

浦潮斯德行

鳳山丸　明三日午後五時敦賀出帆本月五日浦潮斯德著土曜日午後二時浦潮斯德出發歐洲行急行列車ニ連絡ス

○附錄　今二日發刊廣告八頁◎明治四十二年一月中官報目錄七頁

官報第七千六百七十八號附錄

明治四十二年二月二日

○廣告

○商業登記

鐘淵紡績株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス

一取締役左記七名ハ任期滿了ノ處明治四十二年一月十三日再選重任セリ

東京市日本橋區堀留町二丁目十二番地　日比谷平左衛門
東京市芝區金杉新濱町一番地ノ七號　高辻奈良造
同市麻布區竹谷町十四番地　岡本貞然
東京府南葛飾郡隅田村千六百二十七番地　藤正純
兵庫縣神戸市山本通四丁目百十七番屋敷　長尾眞吉
東京市赤坂區赤坂福吉町一番地　山口武
福岡縣三池郡江浦村大字江浦七百八十七番地　永江純一

一監査役左記六名ハ任期滿了ノ處前同日重任セリ

大阪市南區天王寺南綿町二千四百七番地　藤本清兵衛
同市南區天王寺鳥ケ辻町五千七百五十一番地　野賀一破
東京市麻布區麻布仲ノ町十五番地　野崎廣太
東京府北豐島郡王子村大字王子十五番地　筑紫三郎
東京市芝區白金三光町四百五十一番地　澁岡邦之助
東京市本所區横綱町二丁目七番地　安田善三郎

右明治四十二年一月十八日登記

大日本製糖株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス

一取締役馬越恭平ハ明治四十一年十二月二十九日同渡邊福三郎ハ明治四十二年一月九日同酒匂常明ハ同年同月十日同櫻村音介同秋山一登同伊藤茂七ハ共ニ同年同月十九日辭任セリ

右明治四十二年一月十九日登記

株式會社戸塚銀行監査役改選ニ付變更事項

相模國鎌倉郡戸塚町吉田五十四番地　伊藤喜兵衛
同郡同郡川上村下柏尾百八十三番地　齊藤滿平
同國三浦郡浦郷村田浦七十二番地　鈴木倉吉

右明治四十二年一月二十三日登記

東京區裁判所小松川出張所

株式會社戸塚銀行監査役改選ニ付變更事項

相模國鎌倉郡戸塚町吉田五十四番地　伊藤喜兵衛
同郡同郡川上村下柏尾百八十三番地　齊藤滿平
同國三浦郡浦郷村田浦七十二番地　鈴木倉吉

右明治四十二年一月二十三日登記

横須賀區裁判所

株式會社水海道銀行登記事項中左ノ通變更ス

一監査役左記ノ者ハ明治四十二年一月二十日就任シタリ

結城郡水海道町二百三十六番地　五十畑丹藏
同郡同町百五十一番地　五木田利兵衛
北相馬郡坂手村七十二番地　長隈重明

右明治四十二年一月二十三日登記

下妻區裁判所水海道出張所

株式會社結城生蠟乾燥所登記事項中左ノ如ク變更ス

一監査役ノ氏名住所

茨城縣結城郡中結城村大字佐野一番地　委我井昌英
同縣眞壁郡上妻村大字桐ケ瀬三十八番地　齋藤貞次郎
埼玉縣入間郡越ケ畠村大字卿折五十番地　田中高次郎

右明治四十二年一月二十三日登記

下妻區裁判所結城出張所

株式會社下野貯蓄銀行登記事項中左ノ通變更ス

一明治四十二年一月二十日一株ニ付金二圓五十錢宛拂込タルニ依リ各株ニ付拂込タル株金額ヲ金十五圓ト變更ス

右明治四十二年一月二十二日登記

宇都宮區裁判所日粟野出張所

株式會社日吉銀行登記事項中明治四十二年一月二十日臨時株主總會ニ於テ滿期改選左ノ通再選重任ス

一取締役ノ氏名住所

一監査役ノ氏名住所

右明治四十二年一月二十一日登記

安蘇郡佐野町二百三十九番地　蔭作滝居儀市
安蘇郡佐野町二百三十九番地　滝居松崎清助
佐波郡伊勢崎町百六十五番地

佐野區裁判所

株式會社登記變更

株式會社忍商業銀行登記事項中左ノ如ク變更ス

一明治四十二年一月十四日取締役滿期改選ノ處松岡三五郎田島竹之助大澤久右衛門富田治郎助石島儀助各重任ス

一同日監査役滿期改選ノ處部清兵衛山田清兵衛北岡文次郎各重任ス

株式會社忍貯金銀行登記事項中左ノ如ク變更ス

一明治四十二年一月十四日監査役滿期改選ノ處石島儀助山田清兵衛熊谷平左衛門各重任ス

以上明治四十二年一月二十二日登記

熊谷區裁判所忍出張所

株式會社登記簿第六號

一株式會社群馬商業銀行高崎支店取締役細江八郎ハ明治四十二年一月十日死亡シタリ

右明治四十二年一月二十三日登記ス

高崎區裁判所

商事會社登記

株式會社登記簿第二號第二

一明治四十二年一月二十日株式會社藤岡銀行監査役群馬縣多野郡藤岡町大字藤岡町五百七十七番地新井嘉平同縣同郡日野村大字下日野村三番地小池安藏ハ辭任シ同縣同郡神流村大字上戸塚村六十六番地淺見喜代藏ハ重任シ同縣同郡藤岡町大字藤岡町二百七番地木下幸藏同縣同郡美九里村大字川除村十八番地北野武七ハ監査役ニ就任ス

右明治四十二年一月二十三日登記ス

高崎區裁判所藤岡出張所

株式會社變更登記

株式會社豐田銀行登記事項中左ノ通變更ス

一監査役滿期ニ付明治四十二年一月十六日株主總會ニ於テ改選ノ處志太郡豐田村小屋敷二十五番地池谷次吉同郡同村三ケ名二十八番地山口銀作當選ス

東海遠洋漁業株式會社登記事項中左ノ通變更ス

一株主總會ニ於テ明治四十二年一月十七日監査役改選ノ處靜岡市東應匠町四番地甲賀榮太郎同市研屋町三十二番地中野福三郎當選ス

株式會社益津銀行登記事項中左ノ通變更ス

一明治四十二年一月十七日株主總會ニ於テ監査役滿期ニ付改選ノ結果吉田落十郎甲賀邦次郎再選就任ス

右明治四十二年一月二十三日登記ス

藤枝區裁判所

株式會社登記變更

一株式會社三島商業銀行登記事項中監査役任期滿了ニ付改選ノ處木内七之助小西傳兵衛再選就任ス

右明治四十二年一月二十三日登記

沼津區裁判所三島出張所

株式會社變更登記

一株式會社資產銀行監査役滿期ニ付明治四十二年一月十八日選舉シタル處山下吉十内田正穀藥袋兵衛再選セラル

右明治四十二年一月二十二日登記

濱松區裁判所

合資會社登記變更

永續合資會社登記事項中左ノ通變更ス

一存立時期ヲ明治六十二年一月二十四日ト變更ス

右明治四十二年一月二十二日登記

濱松區裁判所氣賀出張所

付錄

第7678号　付録

第 7678 号 付録

○法人登記

○産業組合登記

第7678号　付録

第 7678 号　付録

明治四十二年一月中 官報目錄

自第七六五五號 至第七六七六號

凡例

官報目錄ハ官報ニ掲載シタル一箇月分ノ事項ヲ類別編纂シ以テ索引ニ便ナラシムルニ在リ●印ハ象ヲ省ク●印公文項目ノ末括弧内ノ數字ハ其掲載ナリ●凡ソ項目ノ下ニ在ル數字上段ハ頁數ニシテ下段ハ目附ナリ

○豫算

○明治四十二年度歳入歳出總豫算追加　五一五　二七

○勅令

○明治四十年勅令第二百二十七號中改正(一)　三四九　二〇
○陸軍武官官等表中改正(二)　五四三　二八
○陸軍給與令中改正(三)　五四三　二八
○海軍所屬技師ノ官等ニ關スル件(四)　五四四　二九

○條約

○日本帝國遞信省並大不列顛及愛蘭聯合王國郵政當局間小包郵便約定ヲ修正スル追加條款(一)　三四九　二〇

○軍令

○陸軍大臣ノ官等ニ關スル特例　四八七　二六

○律令

○臺灣銀行ニ於テ發行シタル一圓銀貨ヲ以テ引換フヘキ銀行券ノ通用期限ニ關スル件(一九)　一　四
○臺灣私設鐵道規則(二〇)　七三　八

○省令

●内務省
○有害性著色料取締規則中改正(一)　二六五　一六
○樺太ニ於テ鑛業ノ許可スヘキ區域(二)　三四九　二〇
●文部省
○實業教育費國庫補助法施行規則中改正(一)　一八一　一三
○公立私立專門學校規程中改正(二)　三二一　一九

○府令

●統監府
○統監府鐵道管理局運輸規程中追加(一五)　一　四
●臺灣總督府
○電話料及電話呼出料中追加(七二)　一　四
○臺灣私設鐵道規則施行細則(七三)　七三　八
○臺灣私設鐵道營業規則(七四)　八〇　八
○臺灣總督府電氣使用規則中改正(七五)　八一　八
○荷車取締規則(七六)　八二　八
●關東都督府
○旅順及大連水道給水規則中改正(六七)　二〇九　一四
○明治四十一年府令第六十三號中改正(一)　四五九　二五

○訓令

●内務省
○埼玉縣及同北足立郡郡有財產處分方法(一)　二九三　一八
●陸軍省
○明治四十一年度歳入歳出科目表中增設(一)　一五三　一二
○同上(二)　三二一　一九
●司法省
○監獄統計報告標式(一)　一八一　一三
●農商務省
○明治四十一年度歳入歳出及森林資金歳入歳出科目中增設(一)　二六五　一六
○國有林事業讓定案規程中改正(二)　五一五　二七
○明治四十一年度歳入歳出及森林資金歳入歳出科目中增設(三)　五四四　二八

○達

●陸軍省
○明治三十年陸達第二十九號廢止(陸達一)　二五　六
○陸軍主計團規則(陸達二)　一〇一　九
●大藏省
○内外貨幣比較表(一)　一　四
○奎關稅務署移轉(二)　一〇三　九
○滅失紛失ニ因リ失效ノ記名國債證券ノ利札(三)　一五三　一二
○紛失ニ因リ失效ノ記名國債證券ノ利札(四)　二〇九　一四
○大阪稅務監督局及中ノ島稅務署移轉(五)　二〇九　一四
○日本銀行ニ交付ノ國庫債券(六)　二九四　一八
○大藏省證券發行(七)　四五九　二五
○代證券交付(八)　五六七　二九
●陸軍省
○陸軍戶山學校軍樂生徒召募(一)　五四四　二八
●海軍省
○海軍兵學校及海軍機關學校生徒召募ニ付キ出願方(一)　二五　大
●司法省
○宮城縣志田郡高倉村戶籍役場火災ニ罹リ屆書燒失ニ付キ更ニ屆出及書類送付方(一)　一〇二　九
●文部省
○私立土勝文庫(北海道)設置開申(一)　一〇三　九
○私立紀念館淀江文庫(福島縣)同上(二)　一〇三　九
○私立紀念館岡文庫(福島縣)同上(三)　一〇三　九
●農商務省
○私立津田文庫(大阪府ニ設置開申(一)　五六七　二九
○私立盛岡圖書館(巖手縣)移轉開申(二)　五六七　二九
○私立由宇村青年興風會附屬圖書館(山口縣)設置開申(一五)　五六七　二九
●農商務省
○第四十三回獸醫第三十三回臨時工各教許試驗執行地及期日(一)　一八一　一三
○保安林解除(二)　一八一　一三
○專用漁業登錄(三)　二三七　一五
○保安林解除(四)　二六五　一六
○專用漁業權者ノ代表者登錄(五)　三二一　一九
○保安林解除(六)　四〇五　二二
同上(七)　四〇五　二二
同不解除(八)　四〇五　二二
同編入(九)　四〇五　二二
○日東生命保險株式會社新保險契約締結停止(一〇)　四三三　二三
○保安林解除(一一)　四五九　二五
○入漁事項登錄(一二)　四六三　二五
開墾制限解除(一三)　四八七　二六
同上(一四)　四八七　二六
○埋地利國及洪牙利國政府萬國工業所有權保護同盟條約及附屬最終議定書外四條約ニ加盟(一五)　五一六　二七
○許可ヲ受クヘキ開墾箇所(一六)　五四四　二八
同上(一七)　五六八　二九
○保安林解除(一八)　五七二　二九
○專用漁業登錄(一九)　五七二　二九
○保安林解除(二〇)　五七三　二九
同上(二一)　五七三　二九
●遞信省
○外國貨幣換算割合(一)　二八　六
○外國電信取扱制限表中追加(二)　二八　六
○電話呼出地域中追加(三)　四九　七
○萩原郵便局電信事務開始(四)　一〇三　九
○佐世保城山郵便局電話通話事務開始(五)　一〇三　九
○私立津田文庫(大阪府ニ設置開申(一二)　五六七　二九
○私立盛岡圖書館(巖手縣)移轉開申(一四)　五六七　二九
○私立由宇村青年興風會附屬圖書館(山口縣)設置開申(一五)　五六七　二九

○告示

●鐵道院
○市内營業所設置(東京市)(一)　一〇二　九
○東部鐵道管理局内福島、仙臺、青森、秋田、兩國各營業事務所廢止(二)　一〇二　九
○鐵道管理局管内各驛事務所名稱位置及所管區域中改正(三)　一〇二　九
○大阪市内營業所ニ於テ速達便扱貨物受托事務ヲ取扱フ(四)　一〇二　九
○西部鐵道管理局内湊町、廣島及下關各營業事務所廢止(五)　一〇二　九
●内務省
○歸化允許(ネストル・フライベルグ)(一)　一〇二　九
○出版物一種發賣頒布禁止(二)　一〇二　九
同上(三)　一〇二　九
○出版物二種同上(四)　一〇二　九
○治水上砂防ノタメ一定ノ行爲ヲ禁止制限スヘキ土地指定(五)　一〇二　九
○出版物一種發賣頒布禁止(六)　一〇二　九
同上(七)　一〇二　九
○出版物二種同上(八)　一〇二　九
○北海道移住民ニ對スル汽車汽船ノ特別取扱方告示中追加(九)　一〇二　九
○出版物二種發賣頒布禁止(一〇)　一〇二　九
同上(一一)　一〇二　九
同上(一二)　一〇二　九
○郡市ノ區域ニ依ラサル醫察署管轄區域表中追加(一四)　一〇二　九

印刷局

1月 官報目錄

1月目録

1月目録

○同上（同）　二七七　一六
○同上（同）　三〇一　一八
○同上（同）　三三一　一九
○同上（同）　三五七　二〇
○同上（同）　三九一　二二
○同上（同）　四三八　二三
○同上（同）　四九一　二六
○砂鑛採取業許可（同）　四九一　二六
○鑛業事項（同）　五二四　二七
○同上（同）　五五六　二八
○同上（同）　五八九　二九
○特許代理業者名簿登錄（同）　一一五　九
○同上（同）　三九一　二二
○特許、商標專用權並實用新案權讓渡等（同）　四一四　二三
○特許代理業者名簿登錄（同）　五五六　二八

○運輸

○停車場廢置 東武鐵道新田、飛生（鐵道院）　九二　八
○航海奬勵認許證書下付 日本郵船株式會社所有汽船芝罘丸　九二　八
○私設鐵道株式會社假免許狀下付 小倉鐵道（鐵道院）　一一五　九
○船舶出入數 横濱、神戸、長崎、門司、四日市 四十一年十一月（遞信省）　一一五　九
○私設鐵道株式會社假免許狀下付 花山鐵道（鐵道院）　一三九　一一
○同上 相海鐵道（同）　一六四　一二
○通常郵便物 四十一年七月（遞信省）　一九二　一三
○國有鐵道收入概算旬報 自四十一年十二月十一日至同二十日（鐵道院）　二一八　一四
○小包郵便物數 四十一年六月（遞信省）　二一九　一四
○同上 四十一年七月（同）　二七八　一六
○國有鐵道收入概算旬報 自四十一年十二月二十一日至同三十一日（鐵道院）　三五八　二〇
○船舶檢査請負業（遞信省）　三五九　二〇
○國有鐵道收入概算月報 四十一年十二月（鐵道院）　三九一　二二
○臺灣樺太其他各局所小包郵便物數 四十年度（遞信省）　三九二　二二
○臺灣通常郵便物數 四十年度（同）　四一八　二三
○樺太通常郵便物數 四十年度（同）　四三九　二三
○國有鐵道收入概算旬報 自一月一日至同十日（鐵道院）　四六九　二五
○清國（本省所管）通常郵便物數 四十年度（遞信省）　四七〇　二五
○清國（關東都督府所管）通常郵便物數 四十年度（同）　四九一　二六
○船燈類製造廢業（同）　四九二　二六
○韓國通常郵便物數 四十年度（同）　五二五　二七
○船舶現在數 四十一年十二月末（同）　五二五　二七

○衞生

○藥品檢査 東京、大阪、橫濱衞生試驗所 四十一年九、十兩月（內務省）　三五　六
○傳染病研究所講習規程中改正（同）　九二　八
○傳染病患者及死亡者數 自四十一年十二月十一日至同十五日（同）　一六四　一二
○鳥類ノ體中毒物ノ移行試驗成績 東京衞生試驗所（同）　一九三　一三
○中央衞生會（同）　二一九　一四
○傳染病患者及死亡者數 自四十一年十二月十六日至同二十日（同）　二四八　一五
○同上 自四十一年十二月二十一日至同二十五日（同）　三三二　一九
○同上 四十一年十一月（同）　四三九　二三
○臺灣「ペスト」患者 四十一年十一、十二月（同）　四七〇　二五
○傳染病患者及死亡者數 自四十一年十二月二十六日至同三十一日（同）　四九二　二六
○臺灣「ペスト」患者 自一月一日至同十八日（同）　五五七　二八
○中央衞生會（同）　五五七　二八
○傳染病患者及死亡者數 自一月一日至同五日（同）　五八九　二九

○雜事

○移民取扱營業廢止 大陸殖民合資會社（外務省）　五六　七
○移民運送許可（同）　九二　八
○移民取扱出張所設置（同）　一六五　一二
○移民業務代理人歸國（同）　一六五　一二
○移民業務代理許可（同）　一九四　一三
○感化法施行 長野縣（內務省）　二一九　一四
○移民取扱出張所廢止 皇國殖民合資會社（外務省）　二一九　一四
○外國旅券紛失及返納者 四十一年十二月（同）　二四九　一五
○移民業務代理許可 東洋移民合資會社（同）　三九二　二二
○同上 皇國殖民合資會社（同）　四一八　二三
○日本海員掖濟會月報 四十一年十二月（遞信省）　四一八　二三
○感化法施行 新潟縣（內務省）　四七〇　二五
○移民取扱出張所設置（外務省）　五二五　二七
○移民運送許可（同）　五五七　二八

○帝國議會

○貴族院

○議員薨去及辭職　五六　七
○議案提出　三三三　一九
○書類配付　三三三　一九
○議事日程　三三三　一九
○委員會　三九二　二二
○會議　四一八　二三
○國務大臣演說　四一八　二三
○國務大臣出席　四一八　二三
○席次及部屬　四一八　二三
○特別委員選定　四一九　二三
○委員長副委員長互選　四一九　二三
○常任委員分科　四一九　二三
○書類配付　四四〇　二三
○決算提出　四四〇　二三
○書類配付　四七〇　二五
○議案受領　四七〇　二五
○書類配付　四七〇　二五
○委員會　四七〇　二五
○議事日程　四七〇　二五
○會議　四九三　二六
○國務大臣出席　四九三　二六
○委員長報告　四九三　二六
○議案奏上及通知　四九三　二六
○報告書提出　四九三　二六
○委員長副委員長互選　四九三　二六
○常任委員分科及主査　四九三　二六
○委員會　五二五　二七
○報告書提出　五五七　二八
○書類配付　五五七　二八

○衆議院

○議員議席變更　三五九　二〇
○議案提出　三六〇　二〇
○質問書提出　三六〇　二〇
○議事日程　三六〇　二〇
○議席變更　四一九　二三
○會議　四一九　二三
○國務大臣出席　四一九　二三
○國務大臣演說　四一九　二三
○議案提出　四一九　二三
○質問書提出　四二〇　二三
○請願委員分科所屬員及分科主査　四二〇　二三
○理事選定　四二〇　二三
○常任委員辭任　四二〇　二三
○常任委員補闕當選　四二〇　二三
○委員選定　四二〇　二三
○委員會　四二〇　二三
○議案提出　四四〇　二三
○豫算委員分科所屬員及分科主査　四四〇　二三
○委員長及理事　四四〇　二三
○請願委員所屬員異動　四四一　二三
○委員會　四四一　二三
○議事日程　四四一　二三
○會議　四七〇　二五
○國務大臣出席　四七〇　二五
○國務大臣演說　四七一　二五
○國務大臣答辯　四七一　二五
○議案送付　四七一　二五
○議案提出　四七一　二五
○答辯書受領　四七一　二五
○質問書提出　四七一　二五
○豫算委員所屬員異動　四七一　二五
○委員選定　四七一　二五
○委員異動　四七一　二五
○部會　四七一　二五
○委員會　四九四　二六
○議案提出　四九四　二六
○議案通牒受領　四九四　二六
○答辯書受領　四九四　二六
○決算委員分科所屬員及分科主査　四九四　二六
○豫算委員所屬員異動　四九四　二六
○請願委員分科所屬員異動　四九四　二六
○委員長及理事　四九四　二六
○部會　五二五　二七
○委員會　五二五　二七
○議案提出　五二六　二七
○豫算委員所屬員異動　五二六　二七
○常任委員異動　五五七　二七
○委員會　五五七　二八
○議案提出　五五七　二八
○質問書提出　五五七　二八
○決算委員所屬員異動　五五七　二八
○委員會　五九〇　二九
○請願委員所屬員異動　五九〇　二九
○委員會　五九〇　二九

○地方行政

○縣會（青森縣）　八　四
○縣歲入出及罹災救助基金收支決算額 四十年度（和歌山縣）　八　四
○村治蹟 岡山縣都宇郡撫川村上（內務省）　八　四
○縣歲入出及罹災救助基金收支決算額 四十年度（岐阜縣）　三八　六
○縣會（埼玉、長野二縣）　五六　七
○縣歲入出及罹災救助基金收支決算額 四十年度（鳥取縣）　五六　七
○縣歲入出及罹災救助基金收支豫算額 四十二年度（秋田縣）　五七　七
○縣歲入出及罹災救助基金收支決算額 四十年度（德島縣）　九二　八
○同上 同上（島根縣）　一一五　九
○同上 同上（山口縣）　一三九　一一
○縣會（茨城縣）　一六五　一二
○縣歲入出及罹災救助基金收支決算額 四十年度（鹿兒島縣）　一六五　一二
○縣歲入出及罹災救助基金收支豫算額 四十二年度（福島縣）　一六六　一二
○縣歲入出及罹災救助基金收支決算額 四十年度（秋田縣）　一九四　一三
○市會議長等當選 大阪市（大阪府）　一九五　一三
○縣會（埼玉縣）　二一九　一四
○縣歲入出及罹災救助基金收支決算額 四十年度（山形縣）　二一九　一四
○縣會（千葉縣）　二五〇　一五
○縣歲入出及罹災救助基金收支決算額 四十年度（福島縣）　二五〇　一六
○同上 同上（茨城縣）　二七八　一六
○縣會（奈良縣）　三〇二　一八
○縣歲入出及罹災救助基金收支決算額 四十年度（三重縣）　三〇二　一八
○縣歲入出及罹災救助基金收支豫算額 四十二年度（同）　三〇二　一八
○縣會（群馬、茨城二縣）　三三三　一九
○縣參事會員就職（富山縣）　三三三　一九
○市會議長等當選 福井市（福井縣）　三三三　一九
○縣歲入出及罹災救助基金收支決算額 四十年度（愛媛縣）　三六〇　二〇
○縣歲入出及罹災救助基金收支豫算額 四十二年度（同）　三六一　二〇
○市會議長等當選 橫濱市（神奈川縣）　四二一　二三
○縣參事會員就職（德島縣）　四四一　二三
○縣歲入出及罹災救助基金收支決算額 四十年度（岩手縣）　四四一　二三
○市會議長等當選 水戶市（茨城縣）　四七一　二五

○縣會（群馬縣）　四九四　二六
○縣歲入出及罹災救助基金收支決算額 四十年度（栃木縣）　四九四　二六
○同上 四十年度（石川縣）　五二六　二七
○市會議長等當選 名古屋市（愛知縣）　五二六　二七
○縣歲入出及罹災救助基金收支決算額 四十年度（長崎縣）　五五七　二八
○道會（北海道廳）　五九〇　二九

○在外公館報告

○絕東自由港廢止法案　三九　六
○孟買綿花市況　三九　六
○紐育生絲及綿花市況　三九　六
○紐育金融市況　三九　六
○絕東自由港廢止法案　九三　八
○傳染病週報 上海、廈門　九三　八
○上海傳染病狀況　九三　八
○カルカッタ衞生狀況　九三　八
○孟買綿花市況　九三　八
○紐育生絲及綿花市況　九三　八
○香港本邦紙幣及其他相場 自四十一年十二月十八日至同二十三日　一一六　九
○香港綿絲市況 四十一年十一月　一一六　九
○印度金銀輸出入高 四十一年九月　一一六　九
○上海繭絲商況 四十一年十一月　一三九　一一
○カルカッタ衞生狀況 四十一年十一月　一三九　一一
○沿海州諸港出入船舶ニ關スル件　一六六　一二
○上海綿花及綿絲市況　一六七　一二
○孟買綿花市況　一六七　一二
○新嘉坡金融狀況 四十一年十一月　一六七　一二
○里昂生絲及羽二重市況　一六七　一二
○マニラ傳染病狀況　一九五　一三
○上海稅關外國貨幣換算相場 一月　一九五　一三
○印度金銀輸出入高 四十一年十一月　一九五　一三
○淸國綿花作柄及相場 四十一年　一九五　一三
○米國綿花綿上高　一九六　一三
○廈門金銀塊及貨幣輸出入額 四十一年十月　二二〇　一四
○ラングーン米況 自四十一年十一月十四日至同二十七日　二二〇　一四
○米國綿花收穫高 四十一年　二二一　一四
○紐育生絲及綿花市況　二二一　一四
○上海重要輸出品商況 四十一年十一月　二五一　一五
○印度米作豫想 四十一年度第一回　二五一　一五
○傳染病週報 廈門　二七九　一六
○新嘉坡石炭市況 自四十一年十一月十五日至同十二月十五日　二七九　一六
○傳染病週報 上海　三〇三　一八
○上海傳染病狀況　三〇三　一八
○廣東生絲市況　三〇三　一八
○廈門金銀塊及貨幣輸出入額 四十一年十一月　三〇五　一八
○英蘭銀行割引步合　三三三　一九
○靑島棧橋倉庫規程及附屬細則　三〇三　一八／三三三　一九
○上海綿花及綿絲市況　三三五　一九
○上海石炭商況 四十一年十二月　三三五　一九
○孟買綿花市況　三三六　一九
○孟買經濟狀況 四十一年十一月　三三六　一九
○里昂生絲及羽二重市況　三三七　一九
○淸國ニ於ケル「モルヒネ」及其注射器ノ輸入禁止ニ關スル告示　三六一　二〇
○傳染病週報 上海　三六二　二〇
○上海傳染病狀況　三六二　二〇
○カルカッタ衞生狀況　三六二　二〇
○香港綿絲市況 四十一年十二月　三六二　二〇
○ラングーン米況 自四十一年十二月十一日至同二十八日　三九二　二二
○米國農作物收穫高等 四十一年　三九三　二二
○紐育生絲及綿花市況　三九三　二二
○廣東生絲市況　四二一　二三
○白河結氷　四七一　二五
○香港傳染病狀況　四七一　二五
○盤谷傳染病狀況　四七一　二五
○香港本邦紙幣及其他相場 自四十一年十二月二十三日至同三十一日　四七一　二五
○柴棍米況 自四十一年十一月十四日至同十二月十一日　四七二　二五
○沿海州漁區表發布　四九五　二六
○孟買綿花市況　四九五　二六
○里昂生絲及羽二重市況　四九五　二六
○傳染病週報 上海　五二六　二七
○上海傳染病狀況　五二六　二七
○上海綿花及綿絲市況　五二六　二七
○カルカッタ衞生狀況　五五八　二八
○絕東自由港廢止法案　五九〇　二九
○紐育生絲及綿花市況　五九〇　二九

○外報

◉露西亞
○萬國新發明品博覽會 千九百九年（農商務省）　四四一　二三

◉澳地利
○狩獵萬國博覽會 千九百十年（農商務省）　一九六　一三／二二一　一四

◉北米合衆國
○マニラ市ニ於ケル「カーニヴァル」祭擧行　五七　七

○土地收用公告

○巴川改修 巴川水害豫防組合（靜岡縣）　九四　八
○軌道敷設 大日本軌道株式會社（同）　九五　八
○同上 中央軌道株式會社（同）　九五　八
○同上 大日本軌道株式會社（同）　二五三　一五
○學校建設 富山縣（內閣）　二八〇　一六
○同擴張 富山縣西礪波郡高波村（同）　二八〇　一六
○同建設 長野縣上水內郡朝陽村（同）　二八〇　一六
○道路擴張 高知縣高知市（同）　二八〇　一六
○學校生徒實習地擴張（福岡縣）　三三九　一九
○道路擴張 大阪府大阪市（內閣）　三六四　二〇
○軌道敷設 大日本軌道株式會社（福島縣）　三九四　二一
○堤防改修 三原縣（內閣）　四四五　二三
○道路開鑿並ニ擴張 大阪府大阪市（同）　五五九　二八
○惡水路開鑿 德島縣名東郡普通水利組合（同）　五五九　二八

1月目録